

**USER'S
MANUAL**

4ポートブロードバンドルータ

BRL-04AX

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

使用前に必ずお読みください

本書の目的

本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくお使いいただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたします。

ご注意

- ・ 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第3者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの純粹経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・ 通信内容や保持情報の漏洩、改竄、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・ 本製品は、一般家庭や小規模事業所におけるブロードバンド環境下での利用を前提にしています。物理的・論理的に規模の大きなネットワークや、一般的ではない環境または目的で本製品を使用した場合、正常に動作しない可能性があります。
- ・ 本製品パッケージ等に記載されている性能値(スループット)は、当社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保証するものではありません。また、バージョンアップ等により予告無く性能が上下することがあります。
- ・ ハードウェア、ソフトウェア、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
- ・ 本製品内部のソフトウェア(ファームウェア)更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関する保証は一切ありません。
- ・ 一般的に、インターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要になります。
- ・ 通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末台数を制限、あるいは台数に応じた料金を設定している場合があります。通信事業者との契約内容をご確認ください。
- ・ 輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
- ・ 本製品は日本国内仕様であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。

著作権等

- ・ 本書に関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社へ独占的に帰属します。プラネックスコミュニケーションズ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態及び手段を問わず、本書の記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
- ・ 本書の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、本書の記述に誤りや欠落があった場合もプラネックスコミュニケーションズ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。
- ・ 本書の記述に関する、不明な点や誤りなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
- ・ 本書および記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品を安全にお使いいただくために



本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

■ 設置及び保管に関して

- ・動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。
範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで本製品をご利用にならないでください。
本製品が加熱することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・温度変化の激しい場所で本製品をご利用にならないでください。
動作範囲内の温度であっても温度変化が激しい場所でご利用することで、結露などが原因で感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。
本製品に液体がこぼれることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・コンピュータの取り付け口に異物などが混入しているときは取り除いてください。
コンピュータの取り付け口に異物が混入した状態で本製品を取り付けることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・本製品を分解、改造しないでください。
本製品を分解または改造することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。また改造は法律で禁止されています。

■ 取り扱いに関して

- ・高温に注意してください。
本製品の使用中は高温になっている恐れがあります。不用意に触ると火傷の恐れがあります。
- ・湿気やほこりの多いところに保管しないでください。
湿気やほこりの多いところに保管することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・本製品を重ねて設置しないでください。
本製品を重ねて設置することで製品が加熱し、感電、火災などの発生、または本製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用にならないでください。
振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用になることで、本製品の落下、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・静電気に注意してください。
本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。本製品を取り付ける際は、コネクタや取り付け部分を触れないなどの注意をしてください。
- ・落下や衝撃に注意してください。
本製品に落下や衝撃を与えることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

■ その他

- ・本製品は日本国内でご利用ください。
本製品は日本の国内法のもとで利用可能な製品です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認してください。
- ・ご利用のコンピュータのデータのバックアップを取得してください。
本製品のご利用にかかわらず、コンピュータのデータのバックアップを定期的に取り付けてください。万一不測の事態が発生し不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったとき回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。

目次

本製品を安全にお使いいただくために	2
第1章 はじめに	6
1-1.概要	6
1-2.特長	8
1-3.梱包内容の確認	12
1-4.各部の名称	13
1-5.対応機器	16
1-6.設定の初期化	17
第2章 ハードウェアの接続	19
2-1.設置場所について	19
2-2.設置	20
2-3.WAN側ポートにADSL/ケーブルモデムを接続する	21
2-4.LAN側ポートへのコンピュータの接続	22
2-5.電源の接続	23
2-6.接続の確認	24
第3章 コンピュータの設定	25
第4章 インターネット接続設定	43
4-1.インターネット接続方法の確認	43
4-2.DHCP接続の設定	45
4-3.PPPoE接続の設定	51
4-4.固定IP接続の設定	58
第5章 具体的な運用例	64
5-1.サーバを公開したい	64
5-2.ネットワークゲームをプレイしたい	67
5-3.コンピュータを直接接続した時と同じ状態にしたい (DMZ)	70
5-4.インターネットへの通信を制限したい	73
第6章 詳細設定	77
6-1.設定画面を開く	77
6-2.接続アカウント設定	79
6-3.LAN側ネットワーク設定	88

6-4.管理設定	93
6-5.DMZ設定	96
6-6.パケットフィルタ設定	100
6-7.スタティックルーティング設定	105
6-8.ダイナミックDNS設定	106
6-9.URLフィルタ設定	109
6-10.接続ステータス	111
6-11.セッションリスト	113
6-12.ユーザリスト	115
6-13.初期化	117
6-14.設定の保存	118
6-15.アップデート	119
付録A ネットワークQ&A	121
1.ブロードバンドルータの色々な「？」について	121
2.設定画面にアクセスできない	125
3.インターネットにアクセスできない	132
4.その他よくあるお問い合わせについて	139
付録B 仕様	143
ユーザー登録について	144
弊社へのお問い合わせ	145
質問表	147

1.はじめに

1-1 概要

本製品は、ADSL およびCATV（ケーブルTV）接続を使ったインターネット接続に対応したブロードバンドルータです。

NAT/IP マスカレード（NAPT）機能によって、1つのIPアドレスを複数のコンピュータで共有し、同時にインターネットにアクセスできます。また、NAPT変換が行われることでインターネットからの直接参照を原則禁止でき、セキュリティの高いネット利用がおこなえます。

本製品はWEB ブラウザによって、インターネット接続設定などが簡単にセットアップできます。

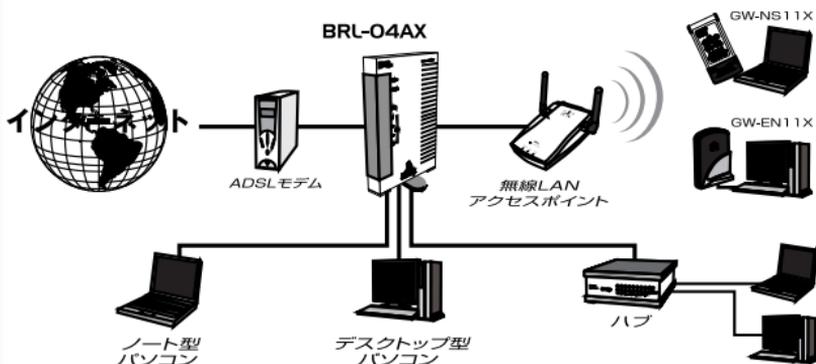


図1-1 BROAD LANNER接続図

注意

プロバイダによっては本製品のようなルータの使用や複数のコンピュータからのアクセスを制限している場合もあります。プロバイダとの契約内容についてご確認ください。

1-2 特長

MIPS16bitチップ採用により低コストで高速スループットを実現

WAN側に100BASE-TX/10BASE-T自動認識、Auto MDI/MDI-Xに対応したRJ-45 STPポートx1装備

LAN側に100BASE-TX/10BASE-T自動認識、Auto MDI/MDI-Xに対応した4ポートスイッチングハブを内蔵しているため、ケーブルの結線方向（ストレート・クロス）がどちらでもご利用できます。

NAPT機能で1つのIPアドレスを複数PCで同時ブロードバンド利用が可能

FTTH、ADSL、CATV接続などの各種インターネット回線に対応

DHCPクライアント機能
IPアドレスの自動割り当て（DHCP）に対応しているプロバイダに対応しています。（各種CATVやYahoo!BBなど）
ブロードバンド接続に必要なIP設定が自動的に行われますので設定も最小限で済みます。

PPPoEクライアント機能

PPPoEプロトコルを採用しているプロバイダにも対応しています。（フレッツ・ADSLやBフレッツなど）

これまで接続ツールを使って個別にネット接続していた処理を本製品がまとめて担当するので接続しているPCは接続管理を気にすることなく複数台同時にネット利用ができます。

WAN側MACアドレス変換機能

予めインターネット接続するコンピュータのMACアドレスを登録するタイプの契約をされている場合に登録アドレスを本製品にセットすることで契約内容の変更をしなくてもすぐネット利用ができます。

DHCPサーバ機能（DNS Proxy含む）

本製品に接続するパソコンに対するIP設定（IPアドレス割り当てなど）を自動化し、面倒な作業をすることなくネットワークとの通信を行えるようになります。

サーバ公開、ネットワークゲーム対応（ローカルサーバ・パッチャルコンピュータ）

インターネットサーバの公開やNAT経由では使えない多くのアプリケーション/サービス（ゲームなど）を利用することができます。

簡易ファイアウォール機能

NAPT機能によってインターネットからの攻撃を防御し、クライアントに安全なネットワークを提供します。

フィルタ機能

LAN側クライアントの不要なインターネットアクセスを制限できます

Windows Messenger 対応 (UPnP機能)

Universal Plug and Play Internet Gateway Device v1.0に準拠し、Windows MessengerなどのUPnP対応アプリケーションを簡単に利用することができます。

ダイナミックDNSサービス対応

本製品はダイナミックDNSサービス (DynDNS.org) に対応し、IPアドレス更新を自動的におこなえます。

通信状態の把握

本製品の状態は、WWWブラウザ設定画面で把握することができます。

機能追加/修正（ファームウェア更新）

弊社ホームページにて公開されるファイルに更新することで、本製品の機能を決定付ける内部ソフトウェア（ファームウェア）を更新することができます。

初心者にもわかりやすい簡単設定

（WWWブラウザ設定）

本製品の設定はすべてWWWブラウザを使ったホームページ形式の設定画面上で行えます。

1-3 梱包内容の確認

パッケージから注意して内容物を取り出し、以下の付属品が含まれていることを確認してください。

BRL-04AX本体

AC電源アダプタ

UTPストレートLANケーブル(1m) 1本

ユーザーズマニュアルCD-ROM

安全に関する説明書

スタートアップガイド

保証書

ショートコード

付属品が足りない場合、または破損などがある場合は、お手数ですが販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡下さい。

1-4.各部の名称

本体側面

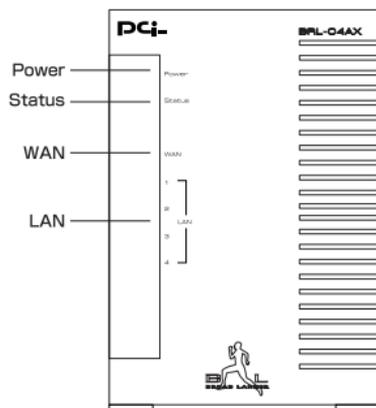


図1-2 BRL-04AX本体側面

LED

「Power」(緑)

本製品に電源が供給されているときに点灯します。

「Status」(赤)

点滅・・・本製品起動時、設定の初期化中に点滅します。

「WAN」(緑)

点灯・・・WANポートがリンクしている状態です。

点滅・・・WANポートが通信している状態です。

「LAN」(緑)

点灯・・・LANポートがリンクしている状態です。

点滅・・・LANポートが通信している状態です。

本体背面

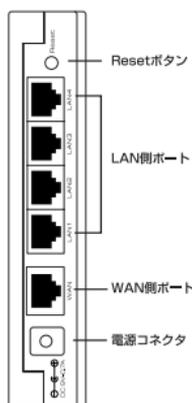


図1-3 BRL-04AX本体背面

「Resetボタン」

本製品を再起動するときや、本製品の設定を工場出荷時の状態に戻すときに使います。

「LAN側ポート」

本製品にコンピュータを直接接続するためのRJ-45 STPポートです。

「WAN側ポート」

本製品をADSLまたはケーブルモデムと接続するためのRJ-45 STPポートです。

「電源コネクタ」

付属のACアダプタを接続するための電源コネクタです。

本体裏面

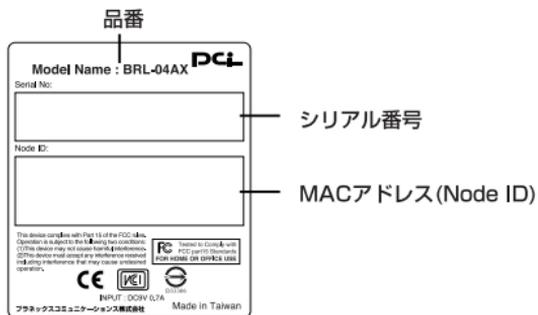


図1-4 BRL-04AX本体裏面

「品番」

本製品の製品型番です。

「シリアル番号」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受けるときにも必要となります。

「MACアドレス(Node ID)」

本製品のWAN/LANポートのMACアドレス（物理アドレス）です。プロバイダによってはADSL/ケーブルモデムに接続する機器のMACアドレスの申請が必要なことがあります。そのときはこのMACアドレスをプロバイダに申請してください。

1-5 対応機器

コンピュータ機器

本製品は、以下のいずれかのコンピュータに対応しています。

Windows 98/98SE/Me、Windows 2000、Windows XPを搭載し、
LAN (RJ-45) ポートを装備したコンピュータ

TCP/IPが利用できるOS (Mac OS、各種UNIXなど) を搭載し、
LAN (RJ-45) ポートを装備したコンピュータ

ネットワーク機器

本製品では、以下のネットワーク機器が必要となります。

ツイストペアケーブル (本製品に接続するコンピュータの台数分)

ADSL/ケーブルモデム

本製品は、以下のADSL/ケーブルモデムに対応しています。

RJ-45 (LAN) ポートを装備した外付ADSLモデム

RJ-45 (LAN) ポートを装備した外付ケーブルモデム

1-6.設定の初期化

簡単な使用方法

IPアドレスやパスワードを忘れてしまったときや、間違った設定をしてしまい設定画面にアクセスできなくなったときなどに設定の初期化が必要になることがあります。

本製品の設定の初期化は、以下の手順で行ってください。

- 1.本製品に電源を投入します。Status LEDの点滅が終了し正常に起動したことを確認します。
- 2.本製品背面にある「Reset」ボタンをとがったペンなどで押します。
- 3.「Reset」ボタンを4秒間押し続けるとStatus LEDが点滅しますので「Reset」ボタンを離します。
- 4.設定情報が工場出荷時の状態に戻り、起動します。
- 5.Status LEDの点滅が終了し、消灯したら作業は終了です。

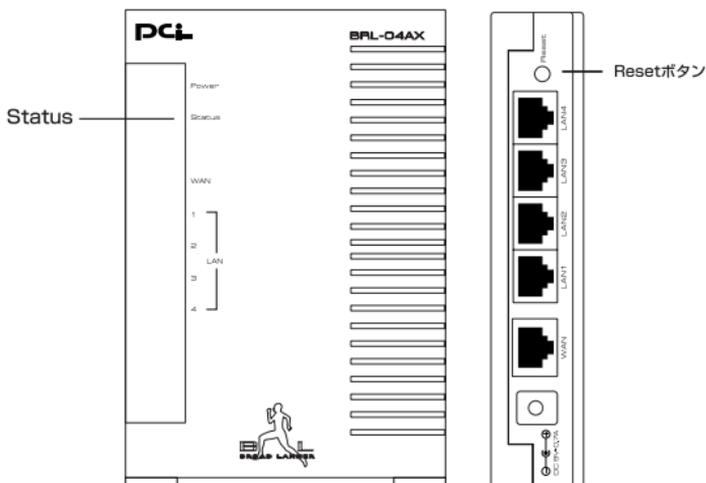


図1-5 ResetボタンとStatus LED

注意

設定の初期化を行うと、LAN側/ WAN側ポートの設定や、フィルタ設定等すべての設定が初期化されます。初期化を実行する前に、本当に初期化を行っても問題がないかを確認してください。

また予期せぬエラーを避けるために本製品に接続しているケーブルを予めポートから外しておくことを推奨します。

2. ハードウェアの接続

本章では、本製品とADSL/ケーブルモデム等、コンピュータとの接続手順について説明します。

2-1. 設置場所について

本製品を設置する際には必ず以下の点をお守りくださいますようお願いいたします。

湿気の多い場所に設置しない。

チリやほこりの多い場所には設置しない。

直射日光のあたる場所や温度の高い場所には設置しない。

内部に熱がこもる原因となりますので、周囲にはなるべく空間を空ける。

注意

通風口にほこりなどがたまると内部に熱がこもる原因となります。定期的に点検を行い、ほこりがたまっているようでしたら掃除機等でほこりを取り除くようにしてください。

2-2.設置

本製品は、デスクトップ上などの平らな場所に設置して使ってください。

図のように本体の平らな面が下になるように設置して下さい。
また、本製品は縦置きにも対応しています。縦置きにするときは本体側面の縦置き用の足を90度回転させてから、平らな場所に縦置きしてください。

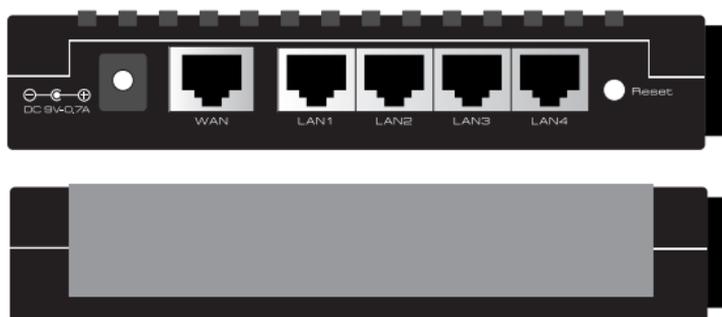


図2-1 本体横置き

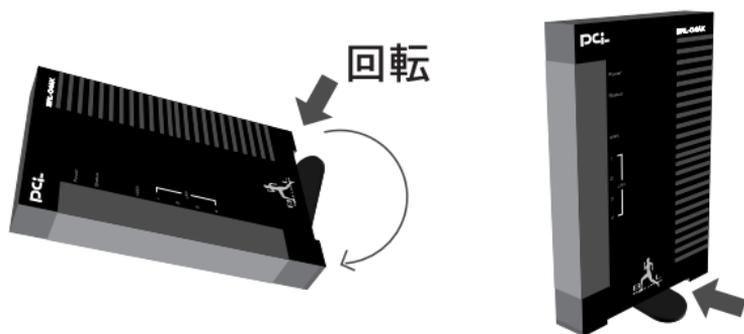


図2-2 本体縦置き

2-3.WAN側ポートにADSL/ケーブルモデムを接続する

1.ADSL/ケーブルモデムの電源を切ってください。電源スイッチがないタイプはコンセントからACアダプタを引き抜いてください。

2.本製品付属のツイストペアケーブルで、本製品背面のWAN側ポートとADSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートを接続します。

*RJ-45ポート モデムによっては「LAN」「Ethernet」などと表記されていることもあります。

BRL-04AX

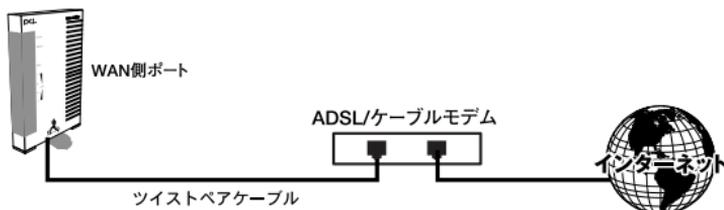


図2-3 ADSL/ケーブルモデムとの接続

注意

本製品のWANポートは結線のタイプを自動認識するAutoMDI/MDI Xに対応しています。ADSL/ケーブルモデムを接続するツイストペアケーブルはストレートタイプ、クロスタイプのどちらでも使用できます。

2-4 LAN側ポートへのコンピュータの接続

1. ツイストペアケーブルの一端を本製品のLAN 側ポートに接続します。本製品のLAN 側ポートは結線のタイプを自動認識するAuto MDI/MDI X に対応しています。コンピュータを接続するツイストペアケーブルはストレートタイプ、クロスオーバータイプのどちらでも使用できます。

2. ツイストペアケーブルのもう一端をコンピュータのRJ-45 ポートに接続します。

このとき、ケーブルのコネクタがポートの奥までしっかりささっているか確認してください。

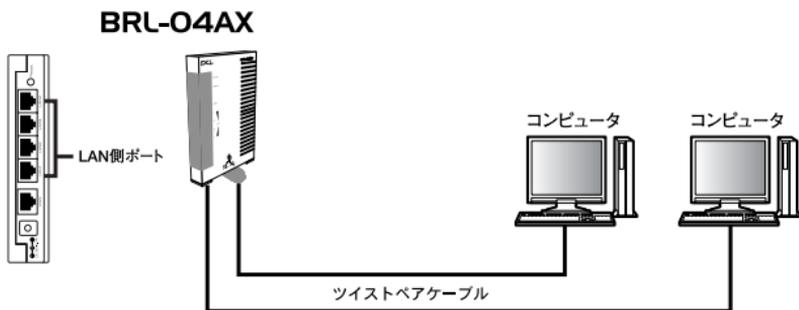


図2-4 コンピュータとの接続

2-5 電源の接続

- 1.ADSL/ケーブルモデムの電源を入れます。
- 2.付属のACアダプタを本製品の電源コネクタに接続します。
- 3.ACアダプタをAC100Vコンセントに接続します。
- 4.コンピュータの電源を入れてください。
- 5.次項の接続の確認に進んでください。

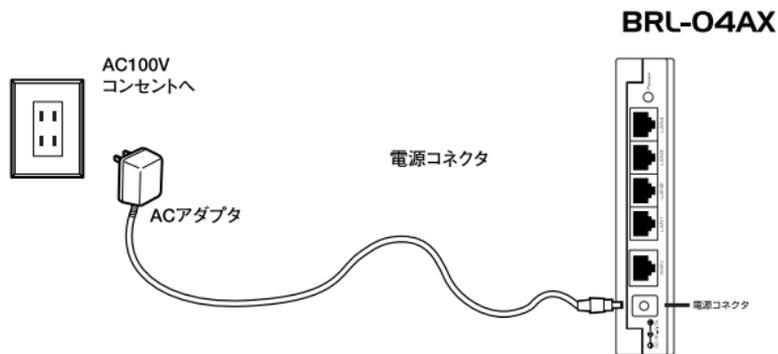


図2-5 電源の接続

注意

ACアダプタは必ず付属のものを使用してください。付属以外のACアダプタの使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外のACアダプタを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。

2-6 接続の確認

これまでの接続を行い本製品の電源を入れると本製品のPOWER、WAN、LANの各LEDが点灯します。これらのLEDが点灯しないときは以下の点についてお確かめください。

POWER LED

- ・本製品付属のACアダプタを使っていますか？
- ・ACアダプタが本製品背面の電源コネクタにしっかりと接続されていますか？
- ・ACアダプタはAC100Vコンセントにしっかりと接続されていますか？

WAN LED

- ・ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のWAN側ポートおよびADSL/ケーブルモデムのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？
- ・ADSL/ケーブルモデムの電源は入っていますか？
- ・使用しているツイストペアケーブルのタイプは間違っていますか？

LAN LED

- ・ツイストペアケーブルの両端はそれぞれ、本製品背面のLAN側ポートおよびコンピュータのRJ-45ポートにしっかりと接続されていますか？
- ・コンピュータの電源は入っていますか？

3. コンピュータの設定

この章では本製品を使ったインターネットへのアクセスとWEBブラウザから設定するために必要なコンピュータの設定手順について説明します。コンピュータの設定を開始する前に、第2章「ハードウェアの接続」を参照して本製品とADSL/ケーブルモデム、コンピュータの接続を完了させておいてください。

3-1 コンピュータの設定

ご利用のOSに応じて次のページをご覧ください。

WindowsXP ProfessionalおよびHomeEditionの場合
ネットワーク設定 (windowsXP) へ

Windows 2000 の場合
ネットワーク設定 (Windows 2000) へ

Windows 98 (SecondEdition 含む) /Me の場合
ネットワーク設定 (Windows 98/Me) へ

Macintosh (Mac OS9) の場合
ネットワーク設定 (Mac OS9) へ

Macintosh (Mac OS X) の場合
ネットワーク設定 (Mac OS X) へ

メモ

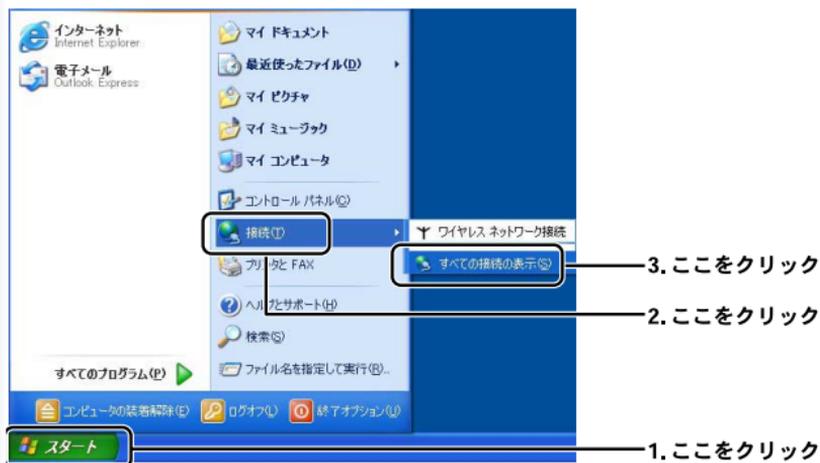
作業を始める前にコンピュータにLANアダプタが装着され、正常に認識されていることを確かめてください。LANアダプタが装着されていないときは、LANアダプタの追加導入を行ってください。

弊社ではPCIバス接続型のLANアダプタ「FW-110TX-PK」をはじめ、ノートパソコンなどに便利なPCカードタイプの「FNW-3700-TX」などいろいろな形態のLANアダプタを取り扱っています。

詳しくは、弊社WEBサイト (<http://www.planex.co.jp/>) をご参照ください。

ネットワーク設定 (Windows XP)

1. 「スタート」ボタンから「接続」内の「すべての接続の表示」を選択します。



注意

Windows クラシックスタイルの場合は「スタート」から「設定」内の「ネットワーク接続」を選択します。

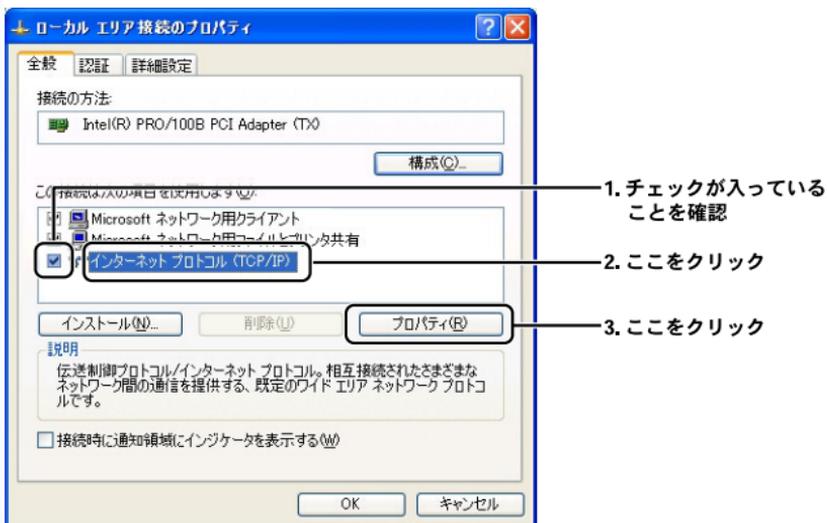
2. 「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウを開きます。



注意

「ローカルエリア接続」アイコンが複数ある場合は本製品と接続している機器のアイコンを選択してください。

3. 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択して設定画面を開きます。



4. 「全般」にある各項目を以下のように設定確認します。

インターネット プロトコル (TCP/IP) のプロパティ

全般 代替の構成

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

IP アドレスを自動的に取得する (O)

別の IP アドレスを使用する (A)

IP アドレス (I):

サブネット マスク (M):

デフォルト ゲートウェイ (G):

DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する (O)

別の DNS サーバーのアドレスを使用する (A)

優先 DNS サーバー (P):

代替 DNS サーバー (A):

詳細設定 (D)...

OK キャンセル

1. ここにチェック

2. ここにチェック

3. ここをクリック

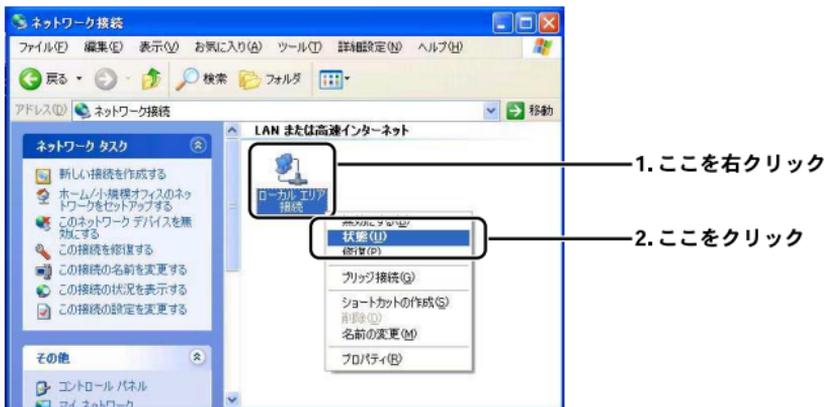
5. 設定を終了します。

「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウの「OK」をクリックします。

ネットワークの設定は終了です。

IPアドレスの確認方法 (Windows XP)

1. 「スタート」から「接続」内の「すべての接続の表示」を選択します。



注意

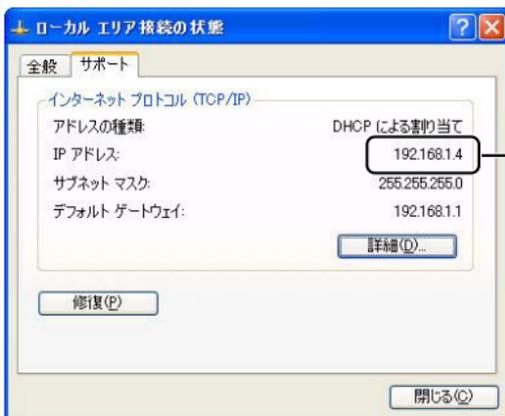
Windows クラシックスタイルの場合は「スタート」から「設定」内の「ネットワーク接続」を選択します。

2. 「ローカル エリア接続の状態」が開きます。



3. 「ローカルエリア接続の状態」の「サポート」タブを選択します。

IPアドレスなどアドレス情報を確認します。



「192.168.1.xxx」になっていることを確認します

*工場出荷時設定の場合

接続先になる本製品の「LAN設定」にあわせた表示になっていることを確認します。

4. 「閉じる」をクリックしてIPアドレスの確認を終了します。

メモ

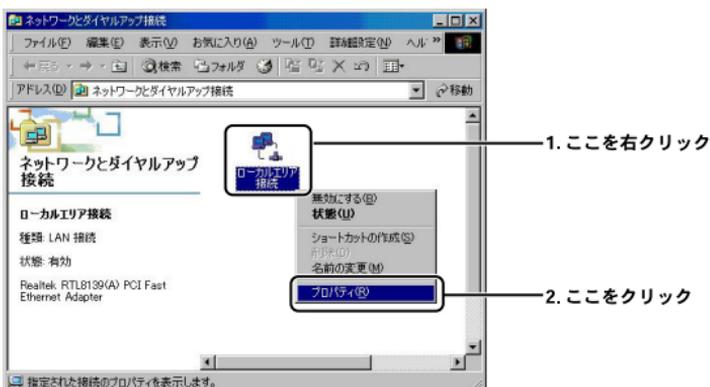
IPアドレスが0.0.0.0や169.254.***.***という様な表示になっている場合には、一旦コンピュータを再起動してみてください。

ネットワーク設定 (Windows 2000)

1. 「スタート」から「設定」内の「ネットワークとダイヤルアップ接続」を選びます。



2. 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」を選びます。



注意

「ローカルエリア接続」アイコンが複数ある場合は本製品と接続している機器のアイコンを選択してください。

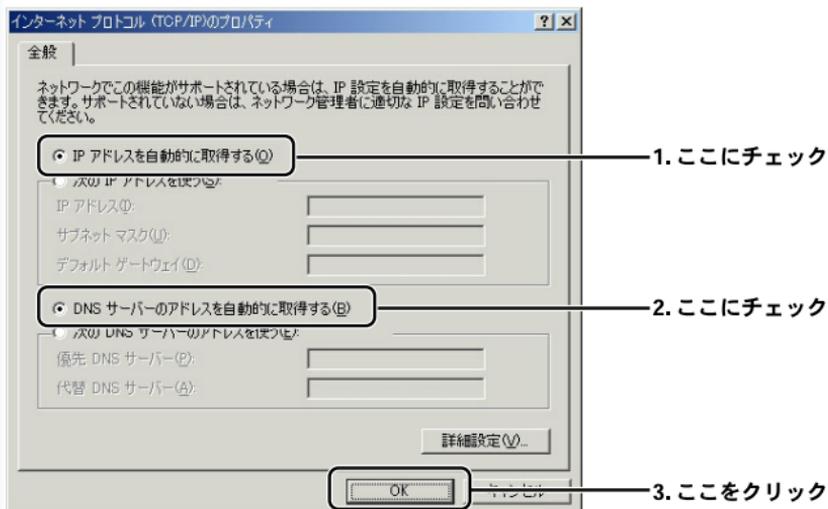
3. 「ローカルエリア接続のプロパティ」に「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が表示されているか確認して「プロパティ」を開きます。



注意

「インターネットプロトコル (TCP/IP)」がない場合は、「F1」キーを押してwindows標準ヘルプのキーワードから「TCP/IPをインストールする」を検索して御参照ください。

4. 「全般」内の各項目の設定を確認します。



5. 「ローカルエリア接続のプロパティ」の画面に戻るなのでこれを閉じてください。ネットワークの設定を終了します。

IPアドレスの確認方法 (Windows 2000)

1. 「スタート」から「プログラム」内の「アクセサリ」より「コマンドプロンプト」を選びます。



2. 「コマンドプロンプト」画面内で「ipconfig」(半角英数字)と入力して「Enter キー」を押します。表示されたアドレス情報を確認します。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 5.00.2195]
(C) Copyright 1985-2000 Microsoft Corp.

D:\>ipconfig

Windows 2000 IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

    Connection-specific DNS Suffix  . : support.planex
    IP Address. . . . . : 192.168.1.5
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . . : 192.168.1.1

D:\>
```

「ipconfig」と半角英数字で入力して「Enter」キーを押します

接続先になる本製品の「LAN設定」にあわせた表示になっていることを確認

例：「192.168.1.xxx」(「xxx」は1以外の数字になります。)

* 工場出荷時設定の場合

メモ

IPアドレスが0.0.0.0や169.254.***.***という様な表示になっている場合には、「コマンドプロンプト」画面内で「ipconfig /release」(半角英数字)と入力して「Enter」キーを押します。

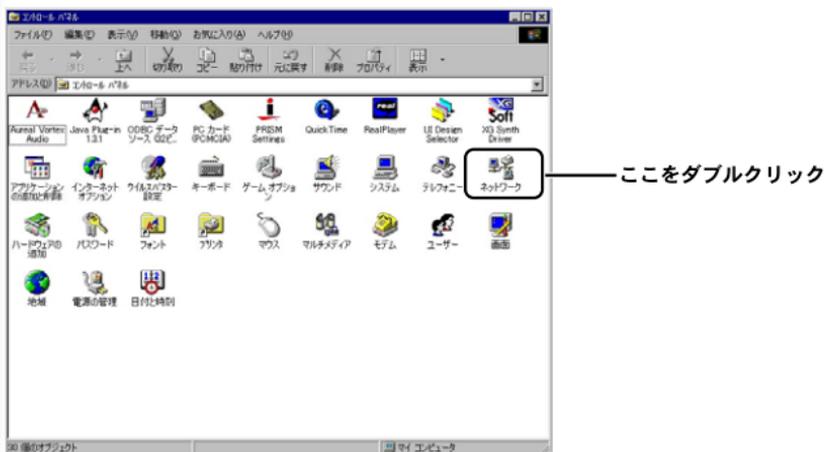
その後、「ipconfig /renew」(半角英数字)と入力して2.のような表示がされるかどうか確かめてください。

ネットワーク設定 (Windows 98/Me)

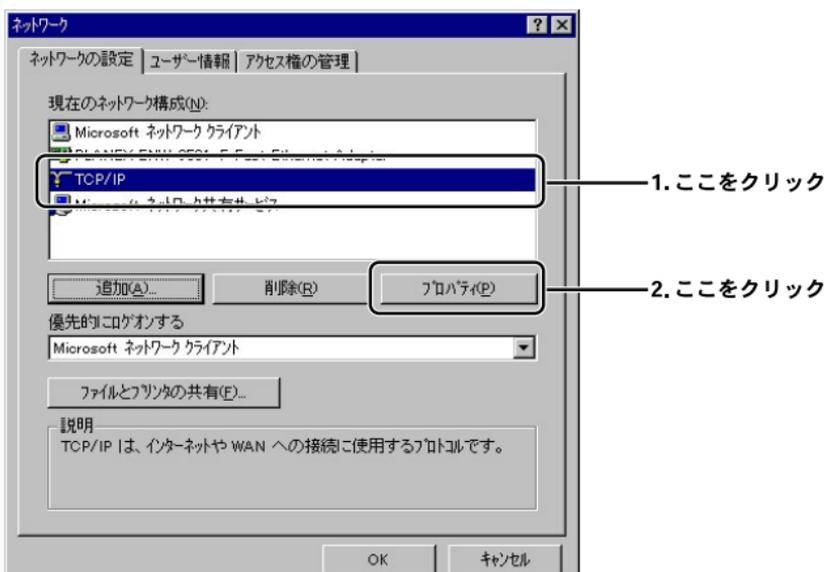
1. 「スタート」から「設定」内の「コントロールパネル」を選びます。



2. 「コントロールパネル」一覧から「ネットワーク」を開きます。



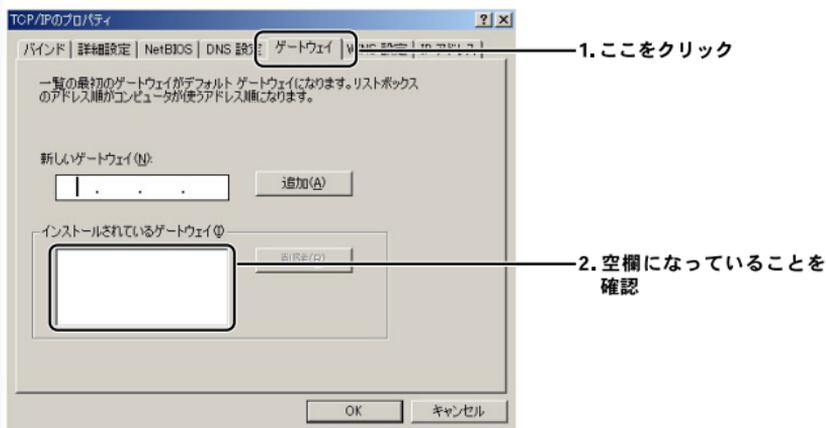
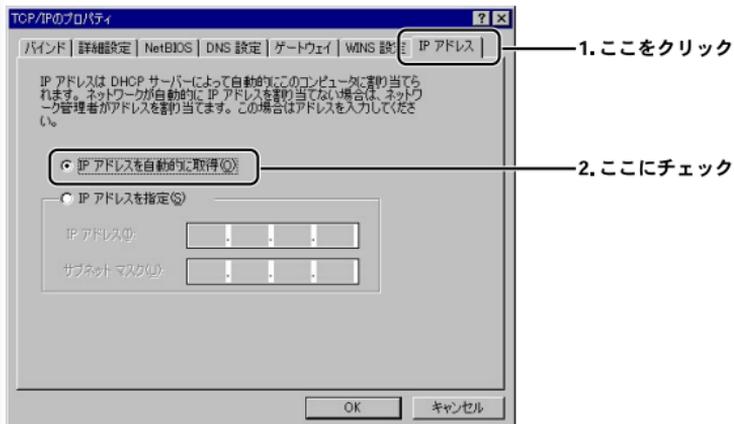
3. 「現在のネットワーク構成」の欄に「TCP/IP」が表示されているか確かめてください。

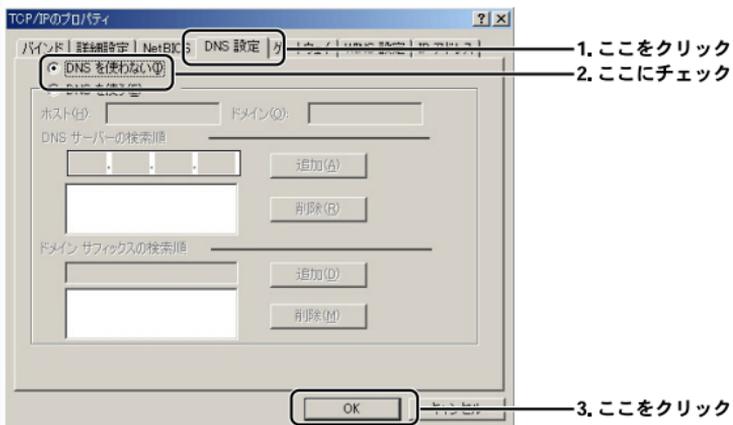


注意

「TCP/IP」がない場合は「F1」キーを押してwindowsヘルプのキーワードから「ネットワークプロトコルをインストールする」を検索して御参照ください。

4. 「TCP/IP のプロパティ」内の各項目の確認をおこないます。





5. 設定を完了させてコンピュータを再起動します。

注意

自動的に再起動がかからない場合には手動で再起動をかけます。

ネットワーク設定 (Windows 98/Me)

1. 「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選びます。



2. 「名前」欄に「winipcfg」(半角英数字)と入力します。



3. 「IP 設定」内でIP アドレスを確認します。



1. 本製品と接続している LAN アダプタに切り替えます

接続先になる本製品の「LAN設定」にあわせた表示になっていることを確認

例：「192.168.1.xxx」（「xxx」は1以外の数字になります。）

* 工場出荷時設定の場合

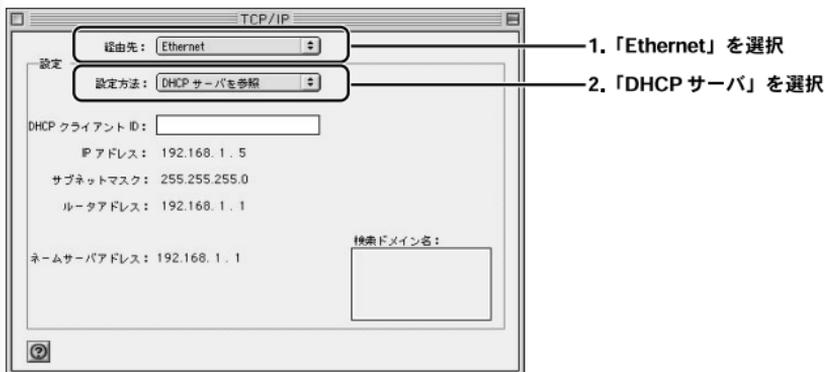
メモ

IPアドレスが0.0.0.0や169.254.***.***という様な表示になっている場合には、「IP 設定」画面内で「すべて解放」ボタンを押してから「OK」ボタンを押します。その状態から「すべて書き換え」ボタンをクリックして、3.にあるような表示になるか確認してください。

ネットワーク設定 (Mac OS9)

1. アップルメニューから「コントロールパネル」 「TCP/IP」を順に選択します。

2. TCP/IPの設定ウィンドウが表示されますので、プルダウンメニューから以下を選択します。



4. 「TCP/IPの設定ウィンドウを閉じて、Macintoshを再起動します。

5. 起動が完了したら再度「TCP/IPの設定ウィンドウ」を表示してIPアドレス「192.168.1.XXX」になっていることを確認します。

(XXXは1以外の数字になります)

ウィンドウを閉じてネットワークの設定を終了します。

ネットワーク設定 (Mac OS)

1. Dockにある [システム環境設定] を開きます。

2. 「システム環境設定」の「ネットワーク」アイコンをクリックしてネットワーク設定項目を開きます。



ダブルクリック



ダブルクリック

3. 「ネットワーク設定」項目を以下の通り設定します。

場所: 自動

表示: 内蔵 Ethernet

TCP/IP | PPPoE | AppleTalk | プロキシ

設定: DHCP サーバを参照

DNS サーバ (オプション): 192.168.1.1

IP アドレス: 192.168.1.3 (DHCP サーバから割り当てられます)

サブネットマスク: 255.255.255.0

ルータ: 192.168.1.1

検索ドメイン (オプション)

DHCP クライアント ID (オプション)

Ethernet アドレス: 00:10:05:01:00:05 例: apple.co.jp earthlink.net

変更できないようにするにはカギをクリックします。 元に戻す 今すぐ適用

1. 「内蔵 Ethernet」を選択

2. 「DHCP サーバ」を選択

3. ここをクリック

4. 再度、「TCP/IPの設定ウィンドウ」を表示してIPアドレス「192.168.1.XXX」になっていることを確認します。(XXXは1以外の数字です)

ウィンドウを閉じてネットワークの設定を終了します。

注意

本製品をご使用になる以前に、Macから直接PPPoE接続を行っていた場合、MacのPPPoE設定を無効にする必要があります。「システム環境設定」「内蔵 Ethernet」「PPPoE」項目を表示して「PPPoEを使って接続する」に入っているチェックを外してください。

4. インターネット接続設定

本章では本製品のインターネットへの接続手順について説明します。ここでは、必要最小限の設定だけで、本製品を経由したインターネットへのアクセスを行えるようになります。インターネット接続設定を開始する前に、第2章「ハードウェアの接続」および第3章「コンピュータの設定」を済ませておいてください。本製品をより詳細に設定したいときは、第6章「詳細設定」を参照してください。

4-1 インターネット接続方法の確認

本製品のインターネット接続の設定は、お客様が契約しているプロバイダとのサービス内容によって異なります。次の中からお客様のプロバイダとの契約内容にあった接続方法を選び、本製品の設定を行ってください。また、契約プロバイダより案内されている接続設定情報を予め確認しておいてください。

DHCP接続

多くのケーブルテレビインターネット接続サービスや、ヤフー株式会社の「Yahoo!BB」などのサービスで採用されている、DHCPプロトコルを使ってIPアドレスが自動に割り当てられる方法です。

次項の「4-2 DHCP接続の設定」に進んでください。

PPPoE接続

NTT東日本株式会社/NTT西日本株式会社の「フレッツ・ADSL」および「Bフレッツ」、東京電力株式会社「TEPCOひかり」サービスなどで採用されているPPPoEプロトコルを使う接続方法です。接続にはユーザ名（アカウント名）とパスワードが必要です。

次項の「4-3 PPPoE接続の設定」に進んでください。

固定IPアドレス接続

プロバイダから固定のIPアドレスが割り当てられるサービスでの接続方法です。

次項の「4-4 固定IP接続の設定」に進んでください。

注意

本製品を@NetHomeでご使用になるときは、@NetHomeへのルータ使用の登録が必要です。（2004年1月現在）

それぞれの接続方式は排他選択であり、2つの接続方式を同時利用することはできません。ご利用のブロードバンドサービスに適した接続方式を選んでください。

4-2.DHCP接続の設定

注意

WEBブラウザから本製品にアクセスするには、フレーム表示に対応したブラウザを使用する必要があります。Netscape 6.0以降またはMicrosoftInternet Explorer 5.0以降のご使用を推奨します。

・ブラウザでプロキシを使用する設定がされていると設定画面が表示されません。

Internet Explorerでは「表示(ツール)」 「インターネットオプション」 「接続」 「LANの設定」、Netscapeでは「編集」 「設定」 「詳細」にプロキシの設定項目があります。プロキシを使用しないように設定するか、もしくはプロキシの詳細設定画面で「次で始まるドメイン(アドレス)にはプロキシを使用しない」の欄に本製品のLAN側ポートのIPアドレスを入力してください。

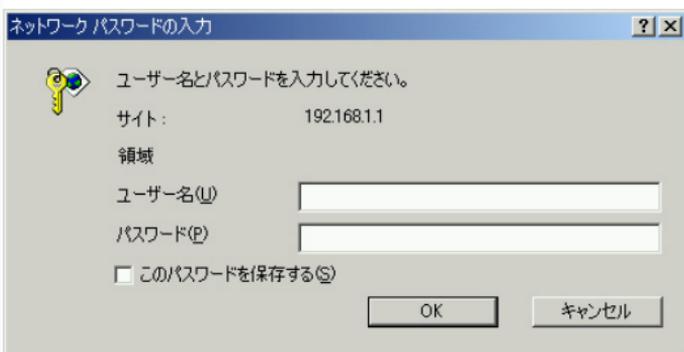
1.コンピュータが起動したら、WEBブラウザを起動します。

2.WEBブラウザのURLを入力する欄 (InternetExplorerでは「アドレス」、Netscape では「場所」)に本製品のLAN側のIPアドレス(デフォルト値は「192.168.1.1」)を入力し、Enterキーを押します。

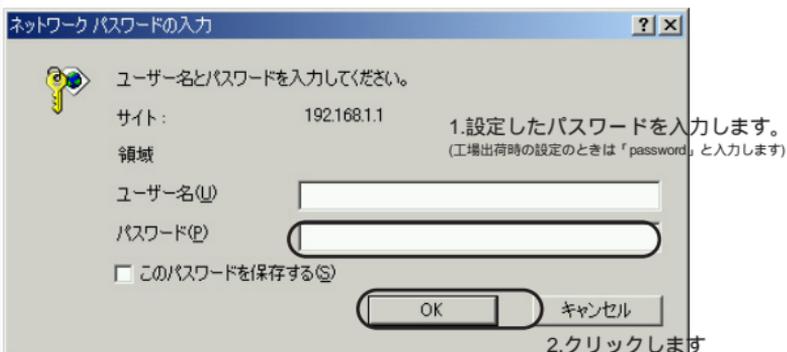


192.168.1.1と入力します

3.設定画面にログインするためのログイン画面が表示されます。



4.本製品に設定したパスワードを入力してください。(工場出荷時の設定ではユーザ名はなし、パスワードは「password」に設定されています。)
「OK」をクリックします。



5.本製品の設定画面が表示されます。

メニューから「セットアップウィザード」をクリックします。



6.セットアップウィザードが表示されます。「通常接続(DHCP)」をクリックします。



7.「通常接続(DHCP)」設定ページが表示されます。プロバイダからホスト名とDNSサーバアドレスが指定されている場合は入力します。指定されておらず、自動取得の場合は何も入力しません。[次へ]ボタンをクリックします。

「DNSサーバアドレス」

プロバイダからDNSサーバアドレスが指定されている場合に入力します。

本製品は2つまでDNSアドレスを登録できますが、セカンダリDNSサーバアドレスは予備用のアドレスですので、必ずしも入力の必要はありません。

設定範囲：半角数字1.0.0.1～223.255.255.254

プロバイダから「ドメイン名」の指定がある場合

プロバイダによっては、利用者管理などの目的により「ドメイン名」設定の指定が必要な場合があります。

Setup Wizard

通常接続(DHCP)

ホスト名 :	<input type="text" value="dhcp_user"/>	1.ホスト名を入力します。 (プロバイダから指定されている場合)
DNSサーバ :		
プライマリ	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/>	2.DNSサーバアドレスを入力し ます。 (プロバイダから指定されている場合)
セカンダリ	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/>	

3.クリックします

本製品では、「接続アカウント」 「通常接続(DHCP)」の項目で設定することができます。

詳細については、6章「6-2接続アカウント」をご参照ください。

8. MACアドレスの入力画面が表示されます。プロバイダにMACアドレスの登録が必要であり、すでに登録している場合は登録したMACアドレスを入力します。[設定]ボタンをクリックします。

Setup Wizard

通常接続(DHCP)

MACアドレス 00 - 90 - CC - 11 - 22 - 33 1. MACアドレスを入力します

インターネット接続事業者との契約で、接続MACアドレスが決められているときはここでMACアドレスを変更してください。(プロバイダに登録済みの場合)

戻る 設定 2. クリックします

9. 設定が保存されます。「再起動」をクリックします。

設定が変更されました。設定を有効にする為には再起動してください。

再起動

10. メニューの「接続ステータス」から「接続ステータス」をクリックします。



クリックします

11.接続ステータスが表示されます。「リンクステータス」が「DHCP already claimed」と表示されていてIPアドレスが取得できていれば設定は完了です。

接続ステータス

PPPoE接続	Disable	更新
PPPoEプロファイル番号	(Not PPPoE)	
PPPoE接続時間	(Not PPPoE)	
IPアドレス	219.184.54.80	
サブネットマスク	255.255.254.0	
デフォルトゲートウェイ	219.184.55.254	確認します
プライマリDNSサーバ	219.176.253.97	
セカンダリDNSサーバ	43.224.255.1	
ドメイン名		
MACアドレス	00-90-00-11-22-33	
リンクステータス	DHCP already claimed	

開放 / 切断 更新 / 接続

注意

「リンクステータス」に「DHCP under claimed」と表示されているときはプロバイダとの接続に失敗しています。「開放 / 切断」ボタンをクリックしてから「更新 / 接続」ボタンをクリックしてください。それでも「リンクステータス」に「DHCP already claimed」と表示されているときは、再度モデムと本製品の接続を確認してみてください。それでも解決しないときは付録AのネットワークQ&Aを参考にしてみてください。

4-3.PPPoE接続の設定

注意

WEBブラウザから本製品にアクセスするには、フレーム表示に対応したブラウザを使用する必要があります。Netscape 6.0以降またはMicrosoftInternet Explorer 5.0以降のご使用を推奨します。

・ブラウザでプロキシを使用する設定がされていると設定画面が表示されません。

Internet Explorerでは「表示 (ツール)」 「インターネットオプション」 「接続」 「LANの設定」、Netscapeでは「編集」 「設定」 「詳細」にプロキシの設定項目があります。プロキシを使用しないように設定するか、もしくはプロキシの詳細設定画面で「次で始まるドメイン (アドレス) にはプロキシを使用しない」の欄に本製品のLAN側ポートのIPアドレスを入力してください。

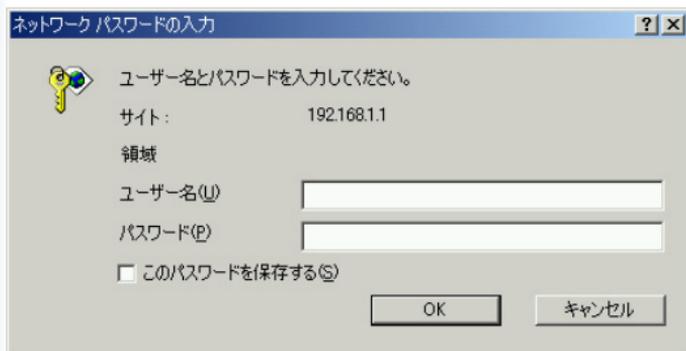
1.コンピュータが起動したら、WEBブラウザを起動します。

2.WEBブラウザのURLを入力する欄（InternetExplorerでは「アドレス」、Netscape では「場所」）に本製品のLAN側のIPアドレス（デフォルト値は「192.168.1.1」）を入力し、Enterキーを押します。

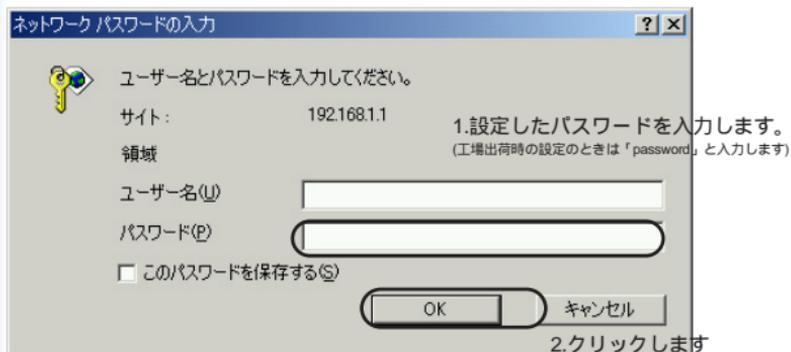


192.168.1.1と入力します

3.設定画面にログインするためのログイン画面が表示されます。



4.本製品に設定したパスワードを入力してください。(工場出荷時の設定ではユーザ名はなし、パスワードは「password」に設定されています。)
「OK」をクリックします。



5.本製品の設定画面が表示されます。
メニューから「セットアップウィザード」をクリックします。



6. セットアップウィザードが表示されます。「PPPoE接続」ボタンをクリックします。



7. 「PPPoE接続」設定ページが表示されます。各項目にプロバイダより指定された値を入力します。入力が完了したら「次へ」ボタンをクリックします。

「PPPoEユーザー名」

プロバイダから指定されたPPPoE接続のユーザ名（アカウント名）を入力します。大文字・小文字は別の文字として扱われますので正確に入力してください。

設定範囲：半角文字1～63文字

例：PCi123456@Planex.co.jp

「PPPoEパスワード」

プロバイダから指定されたPPPoE接続のパスワードを入力します。大文字・小文字は別の文字として扱われますので正確に入力してください。入力内容はセキュリティのために [] で隠されます。

設定範囲：半角文字1～63文字

例：pclBIW04g

「PPPoEパスワード再入力」

パスワードの確認のために「PPPoEパスワード」で入力したパスワードをもう一度入力します。ここでも入力内容はセキュリティのために [] で隠されます。

設定範囲：半角文字1～63文字

例：pclBIW04g

「PPPoEサービス名」

プロバイダからPPPoE接続サービス名を指定された場合のみ入力します。

通常は指定がない限り入力しないでください。

設定範囲：半角文字0～63文字

Setup Wizard

The screenshot shows a window titled "PPPoE接続設定" (PPPoE Connection Settings). It contains four input fields and two buttons. The fields are: "PPPoEユーザ名:" (PPPoE Username) with the value "PC1123456@Planex.co.", "PPPoEパスワード:" (PPPoE Password) with masked characters, "PPPoEパスワード再入力:" (PPPoE Password Re-entry) with masked characters, and "PPPoEサービス名 [通常不要]" (PPPoE Service Name [usually not required]). At the bottom are "戻る" (Back) and "次へ" (Next) buttons. Numbered callouts point to each field and the "次へ" button.

1. プロバイダから指定された「PPPoEユーザ名」を入力します。
2. プロバイダから指定された「PPPoEパスワード」を入力します。
3. 確認のため「PPPoEパスワード」をもう一度入力します。
4. プロバイダから指定されている場合は「PPPoEサービス名」を入力します。
5. クリックします。

8. PPPoE接続の接続 / 切断の設定ページが表示されます。「自動接続」と「自動切断」の設定をします。設定をしたら「設定」ボタンをクリックします。

「自動接続」

設定されたPPPoE接続に自動的に接続するときは「有効」に設定します。PPPoE接続を手動で接続したいときは「無効」に設定します。

「自動切断」

無通信状態だったときに自動的に切断する時間を設定します。ここで設定された時間、無通信だった場合はPPPoE接続を切断します。0に設定した場合は自動切断を行いません。0～999分の範囲で設定できます。

Setup Wizard



9.設定が保存されます。「再起動」をクリックします。

設定が変更されました。設定を有効にする為に再起動してください。

再起動

10.本製品が再起動したら、メニューの「接続ステータス」から「接続ステータス」をクリックします



クリックします

11.接続ステータスが表示されます。「PPPoE接続時間」に時間が表示されていれば設定は完了です。

接続ステータス

PPPoE接続	Enable	更新
PPPoEプロファイル番号	1	
PPPoE接続時間	0:00:01	
IPアドレス	210.199.200.100	
サブネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	210.199.170.1	
プライマリDNSサーバ	210.199.1.1	
セカンダリDNSサーバ	210.199.1.1	
ドメイン名		
MACアドレス	00-90-CC-11-22-33	
リンクステータス	Connect successfully.	

開放 / 切断 更新 / 接続

確認します

注意

「PPPoE接続時間」に「(Not Connected)」と表示されているときはプロバイダとの接続に失敗しています。「開放 / 切断」ボタンをクリックしてから「更新 / 接続」ボタンをクリックしてください。

それでも「PPPoE接続時間」に「(Not Connected)」と表示されているときは、再度モデムと本製品の接続を確認してみてください。また、設定内容をもう一度確認してください。それでも解決しないときは付録AのネットワークQ&Aを参考にしてみてください。

4-4 固定IP接続の設定

注意

WEBブラウザから本製品にアクセスするには、フレーム表示に対応したブラウザを使用する必要があります。Netscape 6.0以降またはMicrosoftInternet Explorer 5.0以降のご使用を推奨します。

・ブラウザでプロキシを使用する設定がされていると設定画面が表示されません。

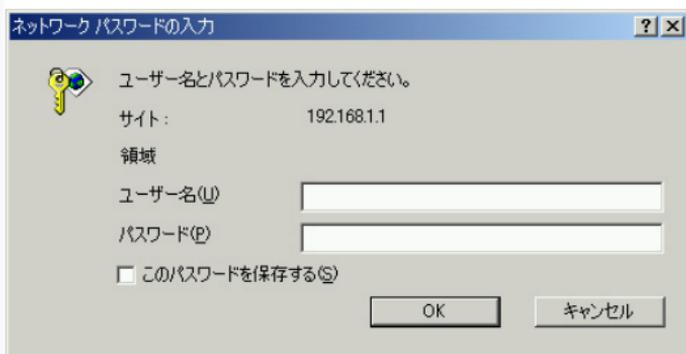
Internet Explorerでは「表示(ツール)」「インターネットオプション」「接続」「LANの設定」、Netscapeでは「編集」「設定」「詳細」にプロキシの設定項目があります。プロキシを使用しないように設定するか、もしくはプロキシの詳細設定画面で「次で始まるドメイン(アドレス)にはプロキシを使用しない」の欄に本製品のLAN側ポートのIPアドレスを入力してください。

- 1.コンピュータが起動したら、WEBブラウザを起動します。
- 2.WEBブラウザのURLを入力する欄(InternetExplorerでは「アドレス」、Netscapeでは「場所」)に本製品のLAN側のIPアドレス(デフォルト値は「192.168.1.1」)を入力し、Enterキーを押します。

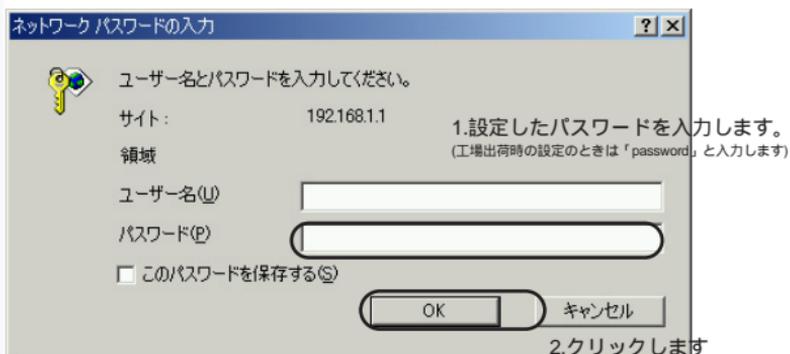


192.168.1.1と入力します

3.設定画面にログインするためのログイン画面が表示されます。



4.本製品に設定したパスワードを入力してください。(工場出荷時の設定ではユーザ名はなし、パスワードは「password」に設定されています。)
「OK」をクリックします。



5.本製品の設定画面が表示されます。

メニューから「セットアップウィザード」をクリックします。



クリックします

6.セットアップウィザードが表示されます。「通常接続(固定IP)」ボタンをクリックします。



7.「通常接続(固定IP)」設定ページが表示されます。プロバイダから指定されている「IPアドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」を入力をします。[次へ]ボタンをクリックします。

「IPアドレス」

プロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。

設定範囲：半角数字1.0.0.1～223.255.255.254

「サブネットマスク」

プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力します。

設定範囲：半角数字255.0.0.0～255.255.255.252

「デフォルトゲートウェイ」

プロバイダから指定されたゲートウェイアドレスを入力します。

設定範囲：半角数字1.0.0.1～223.255.255.254

Setup Wizard

通常接続(固定IP)

IPアドレス: 0 . 0 . 0 . 0

サブネットマスク: 0 . 0 . 0 . 0

デフォルトゲートウェイ: 0 . 0 . 0 . 0

1.入力します

戻る 次へ

2.クリックします

プロバイダから「ホスト名」「ドメイン名」の指定がある場合
プロバイダによっては、利用者管理などの目的により「ホスト名」
「ドメイン名」設定の指定が必要な場合があります。

本製品では、「接続アカウント」「通常接続(固定IP)」の項目で
設定することができます。

詳細については、6章「6-2接続アカウント」をご参照ください。

8.DNSサーバアドレスの入力画面が表示されます。プロバイダに指定されたDNSサーバのIPアドレスを入力します。[設定]ボタンをクリックします。

「DNSサーバ」

プロバイダから指定されたDNSサーバアドレスを入力します。本製品は2つまでDNSアドレスを登録できますが、セカンダリDNSサーバアドレスは予備用のアドレスですので、必ずしも入力する必要はありません。

設定範囲：半角数字1.0.0.1～223.255.255.254

Setup Wizard

通常接続(固定IP)

DNSサーバ

プライマリ: 0 0 0 0 1.DNSサーバアドレスを入力します

セカンダリ: 0 0 0 0

戻る 設定 2.クリックします

9.設定が保存されます。「再起動」をクリックします。

設定が変更されました。設定を有効にする為に再起動してください。

再起動

10.本製品が再起動したら、メニューの「接続ステータス」から「接続ステータス」をクリックします。



クリックします

11.接続ステータスが表示されます。「IPアドレス」が表示されていれば設定は完了です。

接続ステータス

PPPoE接続	Disable	更新
PPPoEプロファイル番号	(Not PPPoE)	
PPPoE接続時間	(Not PPPoE)	
IPアドレス	192.168.1.67	
サブネットマスク	255.255.0.0	
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.8	
プライマリDNSサーバ	178.166.1.2	
セカンダリDNSサーバ	178.166.1.2	
ドメイン名	PCI	
MACアドレス	00-90-CC-11-22-33	
リンクステータス	Static assigned	

確認します

開放 / 切断 更新 / 接続

注意

「IPアドレス」が正しく表示されていないときはプロバイダとの接続に失敗しています。再度モデムと本製品の接続を確認してみてください。また、設定を再度確認してみてください。それでも解決しないときは付録AのネットワークQ&Aを参考にしてみてください。

5. 具体的な運用例

本章では具体的な運用方法を例に挙げて、本製品においてどの機能を使って設定を行うのかをご案内します。

5-1. サーバを公開したい

本製品のLAN側にあるコンピュータをサーバとして公開したり、ネットワークゲームをプレイする場合には、「ローカルサーバ」機能を使うことで特定のポートに対して外部（インターネット）からアクセスがあった場合に、本製品LAN側のコンピュータに通信を転送する設定を行うことができます。

WEBサーバを公開したい

本製品のLAN側ネットワークに接続されているコンピュータをWEBサーバとしてインターネットからアクセスできるようにする場合の設定例です。

メモ

本製品のLAN側IPアドレスが出荷時のままであると仮定した場合の設定になります。

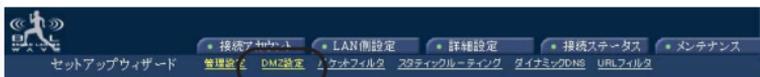
1.WEBサーバとして公開するコンピュータのIPアドレスを以下のように固定設定します。

項目	設定値
IPアドレス	192.168.1.200
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
DNSサーバアドレス	プロバイダ指定のDNSサーバアドレス

設定する「DNSサーバアドレス」がわからない場合は、プロバイダとの契約内容を確認するか、メニューの「接続ステータス」から「接続ステータス」を選んで表示される「プライマリDNSサーバ」に表示されるアドレスを指定します。

MacOSの場合「デフォルトゲートウェイ」は「ルータアドレス」に、「DNSサーバアドレス」は「ネームサーバアドレス」になります。コンピュータのIPアドレスの設定方法の詳細については、OSのマニュアルやヘルプをご覧ください。

2.本製品のWEB設定画面にログインし、「詳細設定」から「DMZ設定」をクリックします。



クリックします

3. ローカルサーバの設定画面が表示されます。「ローカルサーバ」項目について、以下のように設定します。

項目	設定	説明
Method	アプリケーション	リストされているアプリケーションから選択します。
アプリケーション (ポート)	HTTP(TCP 80)	Webサーバの使用するHTTPはTCP 80を使用します。
ローカルサーバIPアドレス	192.168.1.200	WebサーバとなるコンピュータのIPアドレスです。

4. 入力内容を確認し、間違いがなければ「追加」ボタンをクリックします。ローカルサーバリストにサーバが追加されます。

ローカルサーバ

ローカルサーバの追加

1. アプリケーションを選択します

Method アプリケーション ポート

アプリケーション (ポート) 2. HTTP(TCP 80)を選択します

プロトコル TCP UDP

単一/範囲 単一 範囲

ポート番号 ~

ローカルサーバIPアドレス . . . 3. コンピュータのIPアドレスを入力します

やり直し 4. クリックします

ローカルサーバリスト

<No Virtual Server>

5.これで外部（インターネット）からのWAN側IPアドレスにアクセスがあると、そのアクセスがポート80あてだった場合、LAN側の「192.168.1.200」のIPアドレスが設定されたコンピュータへ転送されます。

5-2.ネットワークゲームをプレイしたい

本製品のLAN上のコンピュータでネットワークゲームをプレイする場合の設定例です。

ネットワークゲームは他のプレイヤーの操作した結果が、接続中のサーバから随時送信されてくるため、外部からアクセスが発生することになるので、サーバを公開する時と同じようにしてそのゲームで使用しているポートを開放する必要があります。

本製品のLAN側IPアドレスが出荷時のままであると仮定した場合の設定になります。

1.ネットワークゲームをプレイするコンピュータのIPアドレスを以下のように固定設定してください。

項目	設定値
IPアドレス	192.168.1.200
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
DNSサーバアドレス	プロバイダ指定のDNSサーバアドレス

設定する「DNSサーバアドレス」がわからない場合は、プロバイダとの契約内容を確認するか、メニューの「接続ステータス」から「接続ステータス」を選んで表示される「プライマリDNSサーバ」に表示されるアドレスを指定してください。

MacOSの場合「デフォルトゲートウェイ」は「ルータアドレス」に、「DNSサーバアドレス」は「ネームサーバアドレス」になります。コンピュータのIPアドレスの設定方法の詳細については、OSのマニュアルやヘルプをご覧ください。

2.本製品のWEB設定画面にログインし、「詳細設定」から「DMZ設定」をクリックしてます。



クリックします

3.ローカルサーバの設定画面が表示されます。「ローカルサーバ」項目について、以下のように設定します。

ここでは「DirectX」対応のネットワークゲームで良く使用されるポートを参考に、設定例を紹介します。

TCP&UDP : 2300 ~ 2400

TCP : 47624

項目	設定	説明
Method	ポート	リストされていないので直接ポートを指定します。
プロトコル	TCP	TCPとUDPの両方を使用しますので、まずTCPから設定します。
単一／範囲	範囲	ポートを範囲で指定します。
ポート番号	2300~2400	指定されているポートの範囲を設定。
ローカルサーバIPアドレス	192.168.1.200	ゲームをプレイするコンピュータのIPアドレスです。

4.入力内容を確認し、間違いがなければ「追加」ボタンをクリックします。

ローカルサーバリストにサーバが追加されます。

ローカルサーバ

ローカルサーバの追加

Method アプリケーション ポート 1.ポートを選びます

アプリケーション (ポート) ▼

プロトコル TCP UDP 2.プロトコルを選びます

単一／範囲 単一 範囲 3.範囲を選びます

ポート番号 ~ 4.ポート範囲を指定します

ローカルサーバIPアドレス . . . 5.コンピュータのIPアドレスを入力します

6.クリックします

ローカルサーバリスト

1. UDP(2300 to 2400) 192.168.1.200

2. TCP(47264 to 47264) 192.168.1.200

リスト番号 ▼

5.全部で3つのリストがローカルサーバリストに登録されていれば設定変更が完了です。

メモ

上記の設定はあくまで一例です。ゲームによって使用するポートが異なってきますので、ゲームの説明書やヘルプ等を参照してそのゲームで使用しているポート番号を確認してください。

(ただし、必要なポートを設定してもプレイできないゲームもありますので予めご了承ください)

5-3.コンピュータを直接接続した時と同じ状態にしたい (DMZ)

特定のポートだけを開放する「ローカルサーバ」に対して、DMZホストは外部（インターネット）からの通信を指定したコンピュータにすべて転送します。ローカルサーバではうまく動作しなかった場合は、DMZホスト機能を使用するとうまく動作できる場合があります。

1.DMZホストにするコンピュータのIPアドレスを以下のように固定設定してください。

項目	設定値
IPアドレス	192.168.1.200
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
DNSサーバアドレス	プロバイダ指定のDNSサーバアドレス

設定する「DNSサーバアドレス」がわからない場合は、プロバイダとの契約内容を確認するか、メニューの「接続ステータス」から「接続ステータス」を選んで表示される「プライマリDNSサーバ」に表示されるアドレスを指定してください。

MacOSの場合「デフォルトゲートウェイ」は「ルータアドレス」に、「DNSサーバアドレス」は「ネームサーバアドレス」になります。コンピュータのIPアドレスの設定方法の詳細については、OSのマニュアルやヘルプをご覧ください。

2.本製品のWEB設定画面にログインし、「詳細設定」から「DMZ設定」をクリックしてます。



クリックします

3.DMZホストの設定画面が表示されます。「DMZホスト」項目について、以下のように設定ます。

項目	設定	説明
DMZ外部IPアドレス	WAN側のIPアドレス	現在WAN側に割り当てられているIPアドレスです。
DMZ内部IPアドレス	192.168.1.200	DMZホストにするコンピュータのIPアドレスです。

設定するWAN側のIPアドレスがわからない場合は、プロバイダとの契約内容を確認するか、メニューの「接続ステータス」から「接続ステータス」を選んで表示される「IPアドレス」に表示されるアドレスを指定してください。

4.入力内容を確認し、間違いがなければ「追加」ボタンをクリックします。

DMZホストリストにDMZホストが追加されます。

DMZホスト設定

DMZ外部IPアドレス 210 . 0 . 89 . 57

DMZ内部IPアドレス 192 . 168 . 1 . 200

1.WAN側のIPアドレスを指定します。

2.WAN側のIPアドレスを指定します。

やり直し 追加

DMZホストリスト

3.クリックします。

<No DMZ IP>

すべて削除 削除 リスト番号

5.これで外部（インターネット）からのWAN側IPアドレスにアクセスがあると、LAN側の「192.168.1.200」のIPアドレスが設定されたコンピュータへ転送されます。

注意

ご利用のアプリケーションによってはDMZホスト機能を使っても正常に動作しない場合があります。DMZホスト機能を使っても動作しない場合は、ルータ経由でのご利用が難しい可能性が高いかと思われます。

5-4.インターネットへの通信を制限したい

本製品を経由してインターネット接続する場合、基本的には何も制限されていません。

そのままだと、NBTなどインターネット側に流出してしまったりは困る通信も外部に発信している可能性もあります。そのため、予めそういった外に出す必要のないサービスについてフィルタリングを行う方法をご説明します。

設定例

ここでは、LAN側からWAN側へのtcpとudp両方の135番から139番までのフィルタリングを例に、フィルタ設定を順を追って説明します。（これらはWindowsのNetBIOSで利用されるポートで、主にLAN内での通信に使われます。）

TCP 135 ~ 139

UDP 135 ~ 139

注意

本製品のLAN側IPアドレスが出荷時のままであると仮定した場合の設定になります。

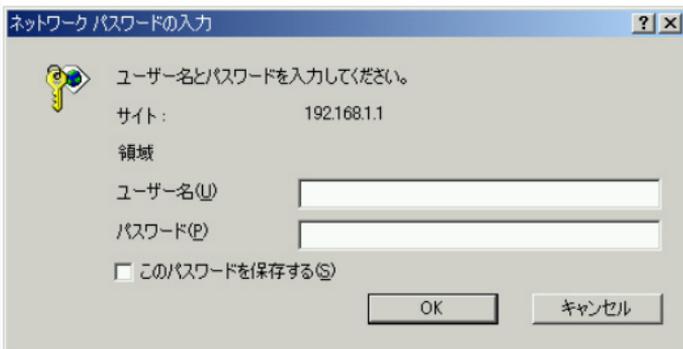
1.コンピュータが起動したら、WEBブラウザを起動します。

2.WEBブラウザのURLを入力する欄（InternetExplorerでは「アドレス」、Netscape では「場所」）に本製品のLAN側のIPアドレス（デフォルト値は「192.168.1.1」）を入力し、Enterキーを押します。

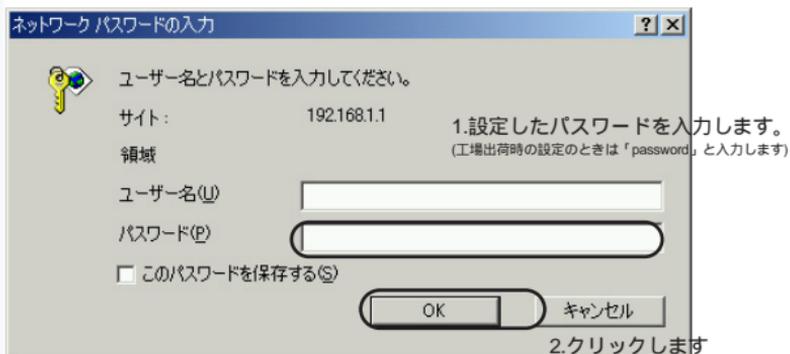


192.168.1.1と入力します

3.設定画面にログインするためのログイン画面が表示されます。



4.本製品に設定したパスワードを入力してください。(工場出荷時の設定ではユーザ名はなし、パスワードは「password」に設定されています。)
「OK」をクリックします。



5.本製品の設定画面が表示されます。
「詳細設定」から「パケットフィルタ」をクリックします。



6.パケットフィルタリングの設定画面が表示されます。
「TCP/UDPポートフィルタリング」から制限をかけるサービスポートを指定します。

項目	設定値
破棄／通過	破棄
単一／範囲	範囲
ポート番号	135～139
ポート種別	TCP

7.入力内容を確認し、間違いがなければ「追加」ボタンをクリックします。

フィルタリングに追加されます。

TCP/UDPポートフィルタリング

破棄/通過	<input checked="" type="radio"/> 破棄 <input type="radio"/> 通過	1.破棄を選びます
単一/範囲	<input checked="" type="radio"/> 単一 <input type="radio"/> 範囲	2.範囲を選びます
ポート番号	~	3.ポート番号を指定します。
ポート種別	<input checked="" type="radio"/> TCP <input type="radio"/> UDP	4.プロトコルを選びます

5.クリックします。

フィルタリングリスト

<input type="button" value="すべて削除"/>	<input type="button" value="削除"/>	リスト番号 <input type="text" value="1"/>
--------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------------

8.全部で2つのフィルタリングリストが登録されていれば設定完了です。これで、インターネット側に不要に流出するNet BIOSパケットを制限することができます。

6. 詳細設定

本製品は、WEBインターフェースを採用しOSに依存せず、また特殊なアプリケーションを使用することなく各種の機能設定を行うことができます。

本章では本製品の各機能の設定について説明します。

6-1 設定画面を開く

1. コンピュータが起動したら、WEBブラウザを起動します。
2. WEBブラウザのURLを入力する欄（Internet Explorerでは「アドレス」、Netscapeでは「場所」）に本製品のLAN側のIPアドレス（デフォルト値は「192.168.1.1」）を入力し、Enterキーを押します。



192.168.1.1と入力します

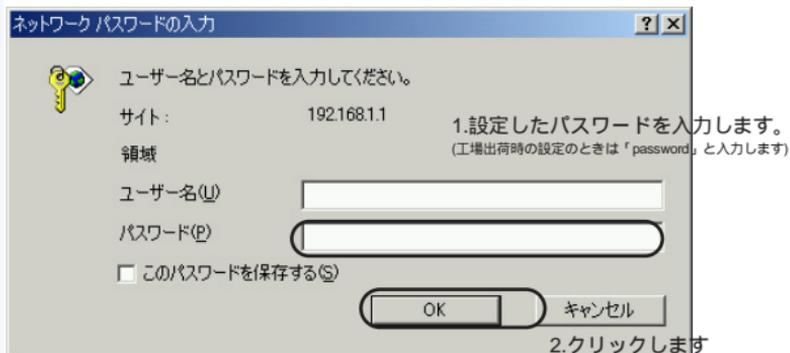
注意

WEBブラウザから本製品にアクセスするには、フレーム表示に対応したブラウザを使用する必要があります。Netscape 6.0以降またはMicrosoft Internet Explorer 5.0以降のご使用を推奨します。

ブラウザでプロキシを使用する設定がされていると設定画面が表示されません。Internet Explorerでは「表示 (ツール)」 「インターネットオプション」 「接続」 「LANの設定」、Netscapeでは「編集」「設定」「詳細」にプロキシの設定項目があります。プロキシを使用しないように設定するか、もしくはプロキシの詳細設定画面で「次で始まるドメイン (アドレス) にはプロキシを使用しない」の欄に本製品のLAN側ポートのIPアドレスを入力してください。

PPPoE接続の場合、本製品が接続処理を行うのでプロバイダから配布されるPPPoE接続ソフトウェアは必要ありません。インストールしてある場合は、アンインストールするか、そのソフトの自動接続機能を無効にしてください。

- 3.設定画面にログインするためのログイン画面が表示されます。
- 4.本製品に設定したパスワードを入力してください。(工場出荷時の設定ではユーザ名はなし、パスワードは「password」に設定されています。)



5.本製品の設定画面が表示されます。

The screenshot shows the 'PPPoE接続' (PPPoE Connection) configuration page. At the top, there is a navigation bar with tabs for '接続アカウント' (Connection Account), 'LAN側設定' (LAN Side Settings), '詳細設定' (Advanced Settings), '接続ステータス' (Connection Status), and 'メンテナンス' (Maintenance). The main title is 'PPPoE接続' and a dropdown menu is set to 'PPPoE接続'. The page is divided into two main sections: '基本設定' (Basic Settings) and 'PPPoE接続設定' (PPPoE Connection Settings). Under '基本設定', there are fields for 'MACアドレス' (MAC Address) with a '変更' (Change) button, 'ホスト名' (Host Name), and 'ドメイン名' (Domain Name). Under 'PPPoE接続設定', there is a section for 'PPPoEアカウント' (PPPoE Account) with '使用するプロファイル' (Use Profile) set to 1, and fields for 'ユーザ名' (Username), 'パスワード' (Password), 'パスワードの再入力' (Re-enter Password), and 'サービス名' (Service Name). Below this, there is an 'MTUサイズ' (MTU Size) dropdown set to 1492, and checkboxes for '固定IPアドレス' (Fixed IP Address) and '固定DNSサーバ' (Fixed DNS Server).

6-2 接続アカウント設定

本製品のWAN側の接続設定を行います。

PPPoE接続

NTT東日本株式会社/NTT西日本株式会社の「フレッツ・ADSL」および「Bフレッツ」、東京電力株式会社「TEPCOひかり」サービスなどで採用されているPPPoEプロトコルを使う接続方法です。接続にはユーザ名(アカウント名)とパスワードが必要です。

- 1.メニューから「接続アカウント」をクリックします。接続アカウント設定ページが表示されます。プルダウンメニューから「PPPoE接続」を選びます。



- 2.「PPPoE接続」設定画面が表示されます。



デバイス設定

MACアドレス：

WAN側ポートのMACアドレスを変更するときに入力します。
PPPoE接続では通常は使用しません。

ホスト名：

プロバイダからホスト名が指定されているときに入力します。通常は特に指定する必要はありません。

ドメイン名：

プロバイダからドメイン名が指定されているときに入力します。通常は特に指定する必要はありません。

PPPoE接続設定

使用するプロファイル：

本製品はPPPoE接続のアカウント情報を最大で3個まで登録することができます。各アカウント情報は3つのプロファイルに分けて登録されます。登録するプロファイル番号を指定して設定することで、後でプロファイルを選択するだけでアカウント設定を切り替えることができます。

ユーザー名：

プロバイダから指定されたPPPoE接続のユーザー名（アカウント名）を入力します。大文字・小文字は別の文字として扱われますので正確に入力してください。

設定範囲：半角文字1～63文字

例：PCi123456@Planex.co.jp

パスワード：

プロバイダから指定されたPPPoE接続のパスワードを入力します。大文字・小文字は別の文字として扱われますので正確に入力してください。入力内容はセキュリティのために[*]で隠されます。

設定範囲：半角文字1～63文字

例：pclBIW04g

パスワード再入力：

パスワードの確認のために「PPPoEパスワード」で入力したパスワードをもう一度入力します。ここでも入力内容はセキュリティのために[*]で隠されます。

設定範囲：半角文字1～63文字

例：pclBIW04g

サービス名：

プロバイダからPPPoE接続サービス名を指定された場合のみ入力します。

通常は指定がない限り入力しないでください。

設定範囲：半角文字0～63文字

MTUサイズ：

WAN側ポートのMTU値を指定します。特に必要がないときは設定を変更しません。

固定IPアドレス：

プロバイダからIPアドレスを固定で指定されているときに入力します。

設定範囲：半角数字1.0.0.1～223.255.255.254

固定DNSサーバ：

プロバイダからDNSサーバアドレスを指定されているときに入力します。

本製品は2つまでDNSアドレスを登録できますが、セカンダリDNSサーバアドレスは予備用のアドレスですので、必ずしも入力する必要はありません。

設定範囲：半角数字1.0.0.1～223.255.255.254

「自動切断」

無通信状態だったときに自動的に切断する時間を設定します。ここで設定された時間、無通信だった場合はPPPoE接続を切断します。0に設定した場合は自動切断を行いません。0～999分の範囲で設定できます。

「自動接続」

設定されたPPPoE接続に自動的に接続するときに設定します。PPPoE接続を手動で接続したいときはチェックをはずしておきます。

入力が完了したら[設定]ボタンをクリックします。設定が保存され本製品が再起動します。

DHCP接続

多くのケーブルテレビインターネット接続サービスや、ヤフー株式会社の「Yahoo!BB」などのサービスで採用されている、DHCP プロトコルを使ってIPアドレスが自動的に割り当てられる方法です。

1.メニューから「接続アカウント」をクリックします。接続アカウント設定ページが表示されます。プルダウンメニューから「通常接続(DHCPクライアント)」を選びます。



WAN側ポート詳細設定
通常接続(DHCPクライアント) ▼ 選びます

2. 「WAN側ポート詳細設定」画面が表示されます。

A screenshot of the 'WAN側ポート詳細設定' (WAN Side Port Detailed Settings) page. At the top, there is a dropdown menu set to '通常接続(DHCPクライアント)'. Below this is a 'デバイス設定' (Device Settings) section with fields for MACアドレス (00-00-00-11-22-33), ホスト名 (BRL-04AX), and ドメイン名. A note states 'IPアドレスは自動的に取得されます。' (IP address is automatically acquired). The 'DNSサーバ設定' (DNS Server Settings) section has radio buttons for '自動取得' (selected) and '固定設定' (Fixed Settings), followed by fields for primary and secondary DNS servers. At the bottom are 'やり直し' (Reset) and '設定' (Apply) buttons.

MACアドレス：

WAN側ポートのMACアドレスを変更するときに入力します。プロバイダにMACアドレスを登録しているときはここに登録してあるMACアドレスを入力します。

ホスト名：

プロバイダからホスト名が指定されているときに入力します。

ドメイン名：

プロバイダからドメイン名が指定されているときに入力します。

DNSサーバ設定：

プロバイダからDNSサーバアドレスを指定されているときに入力します。

本製品は2つまでDNSアドレスを登録できますが、セカンダリDNSサーバアドレスは予備用のアドレスですので、必ずしも入力する必要はありません。

設定範囲：半角数字1.0.0.1～223.255.255.254

入力が完了したら[設定]ボタンをクリックします。設定が保存され本製品が再起動します。

固定IPアドレス接続

プロバイダから固定のIPアドレスが割り当てられるサービスでの接続方法です。PPPoE接続を利用した固定IPアドレスのときは「PPPoE接続」の項を参照してください。

1.メニューから「接続アカウント」をクリックします。接続アカウント設定ページが表示されます。プルダウンメニューから「通常接続(固定IPアドレス)」を選びます。



2. 「通常接続(固定IPアドレス)」画面が表示されます。

A screenshot of the configuration page for a standard connection with a fixed IP address. The page title is 「通常接続(固定IPアドレス)」. At the top, there is a dropdown menu with 「通常接続(固定IPアドレス)」 selected. Below this, there are three main sections: 「デバイス設定」 (Device Settings), 「IPアドレス設定」 (IP Address Settings), and 「DNSサーバー設定」 (DNS Server Settings).
In the 「デバイス設定」 section, there are fields for 「MACアドレス」 (00 - 90 - 00 - 11 - 22 - 33), 「ホスト名」 (BRL-04 AX), and 「ドメイン名」.
In the 「IPアドレス設定」 section, there are fields for 「IPアドレス」, 「サブネットマスク」, and 「デフォルトゲートウェイ」, each with four input boxes.
In the 「DNSサーバー設定」 section, there are fields for 「プライマリ」 and 「セカンダリ」, each with four input boxes.
At the bottom of the page, there are two buttons: 「やり直し」 (Reset) and 「設定」 (Apply).

MACアドレス：

WAN側ポートのMACアドレスを変更するときに入力します。プロバイダにMACアドレスを登録しているときはここに登録してあるMACアドレスを入力します。

ホスト名：

プロバイダからホスト名が指定されているときに入力します。

ドメイン名：

プロバイダからドメイン名が指定されているときに入力します。

IPアドレス：

プロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。

設定範囲：半角数字1.0.0.1～223.255.255.254

サブネットマスク：

プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力します。

設定範囲：半角数字255.0.0.0～225.255.255.252

デフォルトゲートウェイ：

プロバイダから指定されたゲートウェイアドレスを入力します。

設定範囲：半角数字1.0.0.1～223.255.255.254

DNSサーバ設定：

プロバイダからDNSサーバアドレスを指定されているときに入力します。本製品は2つまでDNSアドレスを登録できますが、セカンダリDNSサーバアドレスは予備用のアドレスですので、必ずしも入力の必要はありません。

設定範囲：半角数字1.0.0.1～223.255.255.254

入力が完了したら[設定]ボタンをクリックします。設定が保存され本製品が再起動します。

6-3 LAN側ネットワーク設定

本製品のLAN側ネットワークの設定を行います。

1.メニューから「LAN側設定」をクリックします。



選びます

2.「LAN側ネットワーク」設定ページが表示されます。

LAN側ネットワーク

LANポートアドレス

IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 1

サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0

DHCPサーバ

DHCPサーバ機能を無効にする

DHCPサーバ機能を有効にする

割当開始IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 21

割当IPアドレス数: 128 (1~253)

DHCP固定IPアドレス: 登録

WINSサーバ: 0 . 0 . 0 . 0

やり直し 設定

LANポートアドレス

IPアドレス：

このアドレスがLAN側から見た本製品のIPアドレスになります。LAN側ネットワークのコンピュータの設定に関して、WEB設定用URLやデフォルトゲートウェイで参照するアドレスにもなりません。

従って、このアドレスを変更した場合は、LAN側ネットワーク全体のネットワーク設定を変更する必要があります。

DHCPサーバ機能が有効であれば、変更されたネットワーク情報を提供するので、コンピュータ側で変更する事項はありません。

設定範囲：半角数字1.0.0.1～223.255.255.254 初期値192.168.1.1

サブネットマスク：

本製品LANネットワークのサブネットマスクを入力します。

設定範囲：半角数字255.0.0.0～255.255.255.252 初期値255.255.255.0

入力が完了したら[設定]ボタンをクリックします。設定が保存され本製品が再起動します。

DHCPサーバ

本製品のDHCPサーバ機能の設定を行います。

DHCPサーバ機能はDHCPクライアント（PCなど）の要求に応じてIPアドレスなどのネットワーク情報割り当てを自動的に行います。これにより、本製品に接続するPCはネットワーク設定を意識せずに同一ネットワークホストやインターネットへの通信を行うことができるようになります。（*1）

*実際に割り当てられる情報について

IPアドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイは、「LANポートアドレス」の情報に基づきます。

DNSサーバアドレスは、インターネット接続で取得・設定されたアドレスが適用されます。

(*1) 各々のPCはDHCPサーバからの自動割り当てを受けるために3章「コンピュータの設定」に従って自動取得設定を有効にしておく必要があります。

DHCPサーバ機能を有効にする / 無効にする :

本製品のDHCPサーバ機能動作を選びます。DHCP機能を有効にすると、DHCPクライアント機能を利用しているPCに下記設定内容に基づいてネットワーク情報の自動割り当てを行います。(工場出荷時は有効になっています。)

DHCPサーバ機能を無効にしたときは別のDHCPサーバを使用するかLAN側のコンピュータのIPアドレスをすべて固定で設定する必要があります。

割当開始IPアドレス :

割り当てるIPアドレス範囲の最初のIPアドレスを設定します。

割当IPアドレス数 :

割り当てるIPアドレスの数を設定します。「割り当て開始IPアドレス」から順に「割り当てIPアドレス数」だけLAN側のコンピュータにIPアドレスが割り当てられます。

DHCP固定IPアドレス：

特定の機器に必ず同じIPアドレスを割り当てるときに設定します。「登録」ボタンをクリックすると「DHCP固定IPアドレス」設定画面が表示されます。

DHCP固定IPアドレス

固定割当の追加

IPアドレス：

MACアドレス： - - - - -

DHCP固定IPアドレステーブル

リスト番号	IPアドレス	MACアドレス
-------	--------	---------

リスト番号

固定割当の追加

IPアドレス：

機器に割り当てるIPアドレスを入力します。

MACアドレス：

IPアドレスを割り当てる機器のMACアドレスを入力します。

「追加」ボタンをクリックすると「DHCP固定IPアドレステーブル」に登録されます。

登録が完了したら「戻る」ボタンをクリックして、「LAN側ネットワーク」設定ページに戻ります。

「WINSサーバ」

ローカルネットワーク内でWINSサーバを利用している場合に限りWINSサーバのIPを入力してください。

通常、使用していない場合は空欄のままにしてください。

設定範囲：半角数字1.0.0.1～223.255.255.254 初期値空欄

入力が完了したら[設定]ボタンをクリックします。設定が保存され本製品が再起動します。

注意

DHCPサーバで割り当てるIPアドレス範囲に本製品のLAN側ポートのIPアドレスが含まれないように設定してください。

DHCP割り当て範囲の設定は、「基本設定」の「ローカルネットワーク設定」と連動した範囲で行うようにしてください。

例えば、「LAN側IPアドレス」を192.168.1.1「サブネットマスク」を255.255.255.240とした場合、ネットワーク範囲は、192.168.1.0～192.168.1.15までとなります。ここで「開始アドレス」が“100”だった場合、DHCP割り当てを受けたホストは本製品との通信が出来なくなります。

6-4 管理設定

管理設定では本製品の管理者のアクセス権限などを設定できます。

- 1.メニューの「詳細設定」から「管理設定」をクリックします。



- 2.「管理設定」ページが表示されます。

管理設定

ファームウェアバージョン : 1.01.B00.266

管理者パスワードの変更

新しいパスワード :

新しいパスワードの再入力 :

管理者端末の制限 Enable

端末のMACアドレス 1 : - - - - -

端末のMACアドレス 2 : - - - - -

インターネットからのアクセスの禁止

インターネットからの管理の許可

Web管理用ポートの変更 有効

Web管理用ポート

FTPポート番号の変更 変更

FTP用ポート番号

ファームウェアバージョン：

現在の本製品のファームウェアバージョンが表示されます。

管理者パスワードの変更：

本製品のWEB設定画面へアクセスするためのパスワードを設定します。パスワードの変更を行うにはチェックボックスにチェックを入れます。

新しいパスワード：

新しく設定するパスワードを入力します。半角英数で6文字以内で設定します。大文字と小文字は区別されます。

新しいパスワードの再入力：

新しく設定するパスワードを確認のためにもう一度入力します。

管理者端末の制限：

「管理者端末の制限」を有効にすると特定のMACアドレスのコンピュータからしかWEB設定画面にアクセスできなくなります。有効にするときはチェックボックスにチェックをいれます。

端末のMACアドレス 1 / 2：

「管理者端末の制限」を有効にしたときに、WEB設定画面にアクセス可能な端末のIPアドレスを入力します。ここで指定したMACアドレス以外の機器からはWEB設定画面にアクセスできなくなりますので、間違えないように入力してください。端末は2台まで設定できます。

インターネットからのアクセスの禁止：

この設定を有効にするとインターネット側からの本製品のWAN側IPアドレスへのアクセスを禁止することができます。この機能を有効にするときはチェックボックスにチェックを入れます。

インターネットからの管理の許可：

この設定を有効にするとインターネット側から本製品のWAN側IPにアクセスしてWEB設定画面を開くことが出来るようになります。この機能を有効にしたときは不正アクセスにより本製品の設定が変更されてしまう可能性がありますので通常は有効にしないことを推奨します。この機能を有効にするときはチェックボックスにチェックを入れます。

WEB管理用ポートの変更：

この機能を有効にするとWEB設定画面へのアクセス時のポート番号を変更します。使用されるポート番号は「WEB管理用ポート」で指定したポート番号になります。この機能を有効にするときはチェックボックスにチェックを入れます。

WEB管理用ポート：

「WEB管理用ポートの変更」を有効にしたときに使用するポート番号を指定します。ここで指定したポート番号はLAN側からのアクセス、WAN側からのアクセス双方に適用されます。

FTPポート番号の変更：

この機能を有効にするとFTPを使用したときのポート番号を変更します。使用されるポート番号は「FTP用ポート番号」で指定したポート番号になります。この機能を有効にするときはチェックボックスにチェックを入れます。

FTP用ポート番号：

「FTPポート番号の変更」を有効にしたときに使用するポート番号を指定します。ここで指定したポート番号はLAN側からのアクセス、WAN側からのアクセス双方に適用されます。

入力が完了したら[設定]ボタンをクリックします。設定が保存されます。

6-5 DMZ設定

DMZ設定では本製品のインターネット側からのアクセスを特定のLAN側のコンピュータに転送するローカルサーバ機能とDMZホストの設定ができます。

1.メニューの「詳細設定」から「DMZ設定」をクリックします。



2. 「ローカルサーバ」ページが表示されます。

ローカルサーバ

ローカルサーバの追加

Method アプリケーション ポート

アプリケーション (ポート)

プロトコル TCP UDP

単一/範囲 単一 範囲

ポート番号 ~

ローカルサーバIPアドレス . . .

ローカルサーバリスト

<No Virtual Server>

リスト番号

DMZホスト設定

DMZ外部IPアドレス . . .

DMZ内部IPアドレス . . .

ローカルサーバの追加

ローカルサーバ機能を利用すると、特定のポートへのインターネット側からのアクセスをLAN側の特定のコンピュータに転送することができます。これによりLAN側に設置したWEBサーバやFTPサーバをインターネットに公開することができるようになります。

Method :

ローカルサーバで使用するポート番号の指定方法を選びます。「アプリケーション」を選択したときはあらかじめ本製品に設定されているアプリケーションリストからローカルサーバで設定するポートを指定します。「ポート」を選択したときは任意のポート番号を単一または範囲で指定します。

アプリケーション (ポート) :

「Method」で「アプリケーション」を選択したときにローカルサーバで使用するアプリケーションをプルダウンメニューから選びます。

プロトコル :

「Method」で「プロトコル」を選択したときにローカルサーバで使用するアプリケーションのプロトコルを選びます。

単一 / 範囲 :

「Method」で「プロトコル」を選択したときにローカルサーバで使用するアプリケーションのポートを単一で登録するか範囲で登録するかを指定します。

ポート番号 :

「Method」で「プロトコル」を選択したときにローカルサーバで使用するアプリケーションのポートを入力します。

ローカルサーバIPアドレス：

ローカルサーバで使用するコンピュータのIPアドレスを入力します。

入力内容を確認し、間違いがなければ「追加」ボタンをクリックします。ローカルサーバリストにサーバが追加されます。

ローカルサーバリスト

ローカルサーバで設定されたコンピュータとポートのリストが表示されます。

ローカルサーバを削除するときは、削除したいローカルサーバを「リスト番号」のプルダウンメニューから選択して「削除」ボタンをクリックします。「すべて削除」ボタンをクリックすると登録されているローカルサーバはすべて削除されます。

DMZホスト設定

DMZホスト機能を使用するとインターネット側からのアクセスをすべて特定のコンピュータに転送することができます。これによりDMZホストに設定されたコンピュータはインターネットに直接接続しているかのように扱うことができるようになります。

DMZ外部IPアドレス：

WAN側ポートのIPアドレスを入力します。設定するWAN側のIPアドレスがわからない場合は、プロバイダとの契約内容を確認するか、メニューの「接続ステータス」から「接続ステータス」を選択して表示される「IPアドレス」に表示されるアドレスを指定してください。

DMZ内部IPアドレス：

DMZホストに指定するコンピュータのIPアドレスを入力します。

DMZホストリスト

DMZホストに設定されたコンピュータが表示されます。

DMZホストを削除するときは、削除したいDMZホストを「リスト番号」のプルダウンメニューから選択して「削除」ボタンをクリックします。「すべて削除」ボタンをクリックすると登録されているDMZホストはすべて削除されます。

6-6 パケットフィルタ設定

「パケットフィルタ」ではLAN側からWAN側へのアクセスを制限する設定ができます。

1.メニューの「詳細設定」から「パケットフィルタ」をクリックします。



2.「パケットフィルタリング」設定ページが表示されます。

パケットフィルタリング

MACアドレスフィルタリング	
破棄/通過	<input checked="" type="radio"/> 破棄 <input type="radio"/> 通過
MACアドレス:	<input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/>
<input type="button" value="やり直し"/> <input type="button" value="追加"/>	

IPアドレスフィルタリング	
破棄/通過	<input checked="" type="radio"/> 破棄 <input type="radio"/> 通過
単一/範囲	<input checked="" type="radio"/> 単一 <input type="radio"/> 範囲
IPアドレス範囲	始点: <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 終点: <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
方向	<input checked="" type="radio"/> 送信元ローカルIP <input type="radio"/> 送信先リモートIP
<input type="button" value="やり直し"/> <input type="button" value="追加"/>	

TCP/UDPポートフィルタリング	
破棄/通過	<input checked="" type="radio"/> 破棄 <input type="radio"/> 通過
単一/範囲	<input checked="" type="radio"/> 単一 <input type="radio"/> 範囲
ポート番号	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
ポート種別	<input checked="" type="radio"/> TCP <input type="radio"/> UDP
<input type="button" value="やり直し"/> <input type="button" value="追加"/>	

MACアドレスフィルタリング

パケットフィルタリングをMACアドレスベースでおこなうときに設定します。

破棄/通過:

パケットの処理を指定します。「破棄」を指定したときは設定したMACアドレスからのパケットはすべて破棄します。これにより特定の機器からのインターネットへのアクセスを禁止できます。「通過」を指定したときは設定したMACアドレス以外からのパケットをすべて破棄します。これにより特定の機器のみしかインターネットにアクセスできなくなります。

MACアドレス：

フィルタリングリストに追加するMACアドレスを入力します。

入力内容を確認し、間違いがなければ「追加」ボタンをクリックします。

フィルタリングリストにMACアドレスフィルタリングが追加されます。

IPアドレスフィルタリング

パケットフィルタリングをIPアドレスベースでおこなうときに設定します。

破棄 / 通過：

パケットの処理を指定します。「破棄」を指定したときは設定したIPアドレスからのパケットはすべて破棄します。「通過」を指定したときは設定したIPアドレス以外からのパケットをすべて破棄します。

単一 / 範囲：

IPアドレスフィルタリングに登録するIPアドレスを単一で登録するか範囲で登録するかを選びます。

IPアドレス範囲：

フィルタリングリストに追加するIPアドレスを指定します。「単一」でIPアドレスを指定するときは「始点」のみ入力します。「範囲」でIPアドレスを指定するときは「始点」と「終点」を入力します。

方向：

パケットの流れてくる方向を指定します。「送信元ローカルIP」を指定したときは設定したLAN側の機器から流れてくるパケットのIPアドレスが設定したIPアドレスと一致したときにフィルタリングの設定が適用されます。「送信先リモートIP」を指定したときはインターネット側から流れてくるパケットのIPアドレスが設定したIPアドレスと一致したときにフィルタリングの設定が適用されます。

入力内容を確認し、間違いがなければ「追加」ボタンをクリックします。

フィルタリングリストにIPアドレスフィルタリングが追加されません。

TCP/UDPポートフィルタリング

パケットフィルタリングをポートベースでおこなうときに設定します。

破棄 / 通過：

パケットの処理を指定します。「破棄」を指定したときは設定したポートを使用するパケットはすべて破棄します。これにより特定のアプリケーションによるインターネットへのアクセスを禁止できます。「通過」を指定したときは設定したポート以外を使用するパケットをすべて破棄します。これにより特定のアプリケーションのみしかインターネットにアクセスできなくなります。

単一 / 範囲 :

TCP/UDPポートフィルタリングに登録するポート番号を単一で登録するか範囲で登録するかを選びます。

ポート番号 :

フィルタリングの設定を適用するポート番号を入力します。

ポート種別 :

フィルタリングの設定を適用するプロトコルを指定します。

入力内容を確認し、間違いがなければ「追加」ボタンをクリックします。

フィルタリングリストにTCP/UDPポートフィルタリング が追加されます。

フィルタリングリスト

設定されたフィルタリングルールの一覧が表示されます。フィルタリングリストへは「MACアドレスフィルタリング」「IPアドレスフィルタリング」「TCP/UDPポートフィルタリング」を合わせて24個まで登録できます。

フィルタリング設定を削除するときは、削除したいフィルタリング設定を「リスト番号」のプルダウンメニューから選択して「削除」ボタンをクリックします。「すべて削除」ボタンをクリックすると登録されているフィルタリング設定はすべて削除されます。

6-7 スタティックルーティング設定

「スタティックルーティング」では本製品のルーティングテーブルの設定ができます。

- 1.メニューの「詳細設定」から「スタティックルーティング」をクリックします。



2. 「スタティックルーティング」設定ページが表示されます。

スタティックルーティング

経路設定

スタティックルート 1

宛先アドレス:

サブネットマスク:

ゲートウェイ:

スタティックルート 2

宛先アドレス:

サブネットマスク:

ゲートウェイ:

やり直し 設定

スタティックルート 1 / 2 :

使用するスタティックルートにチェックを入れます。

宛先アドレス :

宛て先ネットワークアドレスを入力します。

サブネットマスク：

宛て先ネットワークのサブネットマスクを入力します。

ゲートウェイ：

宛て先ネットワークへのゲートウェイを入力します。

入力が完了したら[設定]ボタンをクリックします。設定が保存されます。

6-8 ダイナミックDNS設定

本製品はwww.dyndns.org を始めとするダイナミック DNS サービスに対応しています。

対応するダイナミックDNSサービスに登録してあるユーザ名、パスワード、ドメイン名の情報を本製品に設定しておくことにより、自動的に登録内容の更新を行います。この機能を利用することで本製品を利用してWEBサーバなどを公開する際、ユーザがドメイン名を指定することで公開サービスにアクセスすることができます。つまり本製品がインターネットへ接続するたびに取得するIPアドレスが異なっても自動的にIPアドレスの更新をDDNSサーバに対して行うのでユーザは常に同じドメイン名でアクセスすることができます。

サービスの詳細は各ダイナミックDNSのサービスサイトを参照してください。

この機能を利用するには、事前に使用するダイナミックDNSサイトにアクセスしてドメインの登録が必要となります。

1.メニューの「詳細設定」から「ダイナミックDNS」をクリックします。



2.「ダイナミックDNS」設定ページが表示されます。

ダイナミックDNS

ダイナミックDNS機能	<input checked="" type="checkbox"/> 有効	IPアドレスの登録
ダイナミックDNSアカウント :	<input type="text"/>	. <input type="text" value="dyndns.org"/>
ユーザ名 :	<input type="text"/>	
パスワード :	<input type="password" value="*****"/>	
<input type="checkbox"/> ワイルドカードの使用		
MXホスト名 :	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/> バックアップMXの使用
ステータス :	Dynamic DNS function is disabled. <input type="button" value="更新"/>	

ダイナミックDNS機能 :

ダイナミックDNS機能を有効にするときはチェックボックスにチェックを入れます。

ダイナミックDNSアカウント :

ダイナミックDNSサービスに登録したホスト名を入力します。また、登録したダイナミックサービスをプルダウンメニューから選びます。プルダウンメニューに無いダイナミックDNSサービスには対応していません。

ユーザ名：

ダイナミックDNSサービスに登録したユーザ名を入力します。

パスワード：

ダイナミックDNSサービスに登録したパスワードを入力します。

ワイルドカードの使用：

ワイルドカードを使用するとドメインの前に任意の文字列を付けられます。ただし、ワイルドカードに対応したダイナミックDNSサービスを利用する必要があります。ワイルドカードを使用するときはチェックボックスにチェックを入れます。

MXホスト名：

メールエクスチェンジを使用するときの転送先サーバのホスト名を入力します。

バックアップMXの使用：

チェックボックスにチェックを入れると、「MXホスト名」で指定したサーバをバックアップ用を使用します。

ステータス：

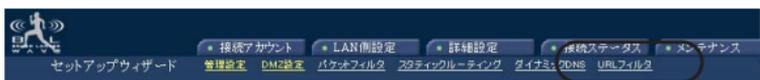
ダイナミックDNSサービスの利用状態が表示されます。

入力が完了したら[設定]ボタンをクリックします。設定が保存されます。

6-9 URLフィルタ設定

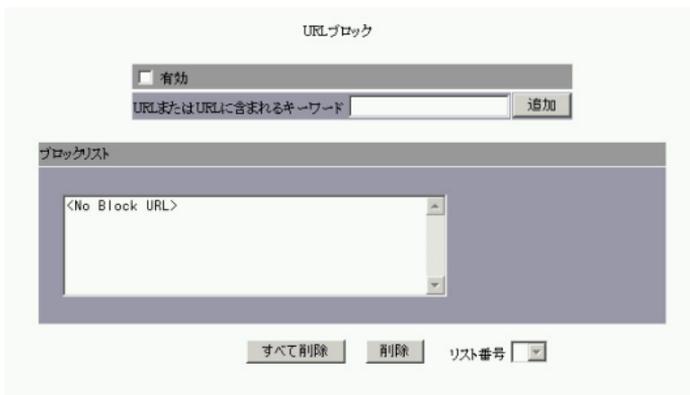
「URLフィルタ」では任意の文字列が含まれるURLのWEBページの表示を禁止することができます。

- 1.メニューの「詳細設定」から「URLフィルタ」をクリックします。



選びます

- 2.「URLブロック」設定ページが表示されます。



有効：

URLフィルタリングを使用するときはチェックを入れます。

URLまたはURLに含まれるキーワード：

アクセスを禁止したいURLを入力します。またURLに含まれる文字列の一部指定してもアクセス禁止することができます。

「追加」ボタンをクリックすると入力したURLまたはキーワードがブロックリストに追加されます。

ブロックリスト：

登録されたURLブロックリストの一覧が表示されます。

URLブロック設定を削除するときは、削除したいURLブロック設定を「リスト番号」のプルダウンメニューから選んで「削除」ボタンをクリックします。「すべて削除」ボタンをクリックすると登録されているURLブロック設定はすべて削除されます。

6-10 接続ステータス

接続ステータスではインターネットへの接続状態を表示します。

- 1.メニューの「接続ステータス」から「接続ステータス」をクリックします。



2. 「接続ステータス」ページが表示されます。

接続ステータス		
PPPoE接続	Enable	更新
PPPoEプロファイル番号	1	
PPPoE接続時間	0:00:01	
IPアドレス	210.1.1.1	
サブネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	210.1.1.1	
プライマリDNSサーバ	210.1.1.1	
セカンダリDNSサーバ	210.1.1.1	
ドメイン名		
MACアドレス	00-90-CC-11-22-33	
リンクステータス	Connect successfully.	

開放 / 切断 更新 / 接続

PPPoE接続：

現在のPPPoE接続状態を表示します。「Enable」と表示されているときはPPPoE接続を使用してインターネットに接続しています。「Disable」と表示されているときはPPPoE接続を使用せずにインターネットに接続しています。

PPPoEプロファイル番号：

PPPoE接続中に使用しているプロファイル番号が表示されます。
プロフィールに登録された接続アカウントで接続しています。

PPPoE接続時間：

PPPoE接続を開始してから接続し続けている時間です。PPPoEセッションが一度でも切れると接続時間は00:00:00に戻ります。

IPアドレス：

本製品のWAN側に割り当てられているIPアドレスが表示されます

サブネットマスク：

WAN側のサブネットマスクが表示されます。

デフォルトゲートウェイ：

WAN側のデフォルトゲートウェイアドレスが表示されます。

プライマリDNSサーバ：

使用するDNSサーバのIPアドレスです。

セカンダリDNSサーバ：

バックアップ用のDNSサーバのIPアドレスです。

ドメイン名：

現在のドメイン名が表示されます。

MACアドレス：

本製品のWAN側のMACアドレスが表示されます。

リンクステータス：

現在の接続状況が表示されます。

「更新」ボタンをクリックすると最新の情報に更新します。

「解放 / 切断」ボタンをクリックすると、PPPoE接続のときは切断します。通常接続(DHCP)のときはIPアドレスの解放します。

「更新 / 接続」ボタンをクリックすると、PPPoE接続のときは接続します。通常接続(DHCP)のときはIPアドレスを取得します。

6-11 セッションリスト

「セッションリスト」では現在のセッション情報が表示されます。

1.メニューの「接続ステータス」から「セッションリスト」をクリックします。



2. 「セッションリスト」ページが表示されます。



タイプ：

プロトコルのタイプです。TCP/UDPのいずれかが表示されます。

IPローカル：

セッションを張っているLAN側のコンピュータのIPアドレスが表示されます。

ポートローカル：

LAN側のコンピュータが使用しているポート番号です。

ポート外部：

WAN側が使用しているポート番号です。

IPリモート：

セッションの接続先IPアドレスが表示されます。

ポートリモート：

セッションの接続先のポート番号が表示されます。

未使用時完：

セッションが通信を止めてから経過した時間です。

「更新」ボタンをクリックすると最新の情報に更新します。

6-12 ユーザーリスト

「ユーザーリスト」ではDHCPサーバ機能によってIPアドレスを割り当てているコンピュータのリストが表示されます。

1.メニューの「接続ステータス」から「ユーザーリスト」をクリックします。

1.選びます



2.選びます

2. 「ユーザリスト」ページが表示されます。



IPアドレス：

割り当てているIPアドレスが表示されます。

MACアドレス：

IPアドレスを割り当てられているコンピュータのMACアドレスが表示されます。

残り時間：

DHCPのIP貸し出し時間の残り時間が表示されます。

ホスト名：

IPアドレスを割り当てられているコンピュータのホスト名が表示されます。

「更新」ボタンをクリックすると最新の情報に更新します。

6-13 初期化

「初期化」では本製品を工場出荷時の状態に戻します。

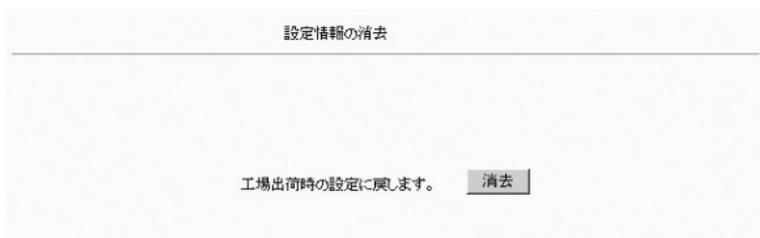
1.メニューの「メンテナンス」から「初期化」をクリックします。

1.選びます



2.選びます

2.「設定情報の消去」ページが表示されます。



「消去」ボタンをクリックすると初期化の確認のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると本製品の設定が工場出荷時の状態に戻り再起動します。

6-14 設定の保存

「設定情報の保存と読み込み」では本製品の設定情報をファイルに書き出したり、書き出したファイルから設定情報を読み込んだりできます。

1.メニューの「メンテナンス」から「設定の保存」をクリックします。

1.選びます



2.選びます

2.「設定情報の保存と読み込み」ページが表示されます。

設定情報の保存と読み込み



設定情報の保存

現在の設定情報を書き出すときは「保存」ボタンをクリックします。保存先を指定するウィンドウが表示されますので保存先と保存するファイル名を指定します。

設定情報の読み込み

設定情報を読み込みさせるには、「参照」ボタンをクリックします。ファイルの指定をするウィンドウが表示されますので、ファイルを指定して「OK」ボタンをクリックします。

「読み込み」ボタンをクリックすると指定したファイルから設定情報を読み込みます。

6-15 アップデート

「アップデート」では本製品のファームウェアのアップデートができます。

ファームウェアとは？

本製品を制御するためのプログラムにあたるものです。

機能追加・仕様変更などを施した最新のファームウェアが弊社のホームページから公開されるとダウンロードしてWEB設定画面上でアップグレードすることができます。

http://www.planex.co.jp/support/download/driver_router.shtml

このとき、ファームウェアバージョンを参照して頂くことにより該当するファームウェアであるかなどを確認することができます。

最新のファームウェアをダウンロードしたら、作業用コンピュータの任意のフォルダにコピーしてください。

また、アップデート作業時はアップデートに使用する作業用コンピュータ以外のケーブルははずしておきます。

- 1.メニューの「メンテナンス」から「アップデート」をクリックします。

1.選びます



2.選びます

- 2.「ファームウェアの更新」ページが表示されます。

ファームウェアの更新



- 3.「参照」ボタンをクリックします。ファイルを指定するウィンドウが表示されますので、ダウンロードしたファームウェアファイルを指定します。

- 4.「書き込み」ボタンをクリックするとファームウェアのアップデートが開始されます。アップデート後、自動的に再起動します。メニューの「詳細設定」から「管理設定」をクリックしてファームウェアのバージョンが上がっていることを確認します。

注意

ファームウェアの更新中は絶対に本製品の電源を切らないでください。

付録A. ネットワーク Q&A

1. ブロードバンドルータの色々な「？」について

インターネットの急速な普及により、ブロードバンドルータ（以下、BBルータ）を使用する場面が増えてきました。特に多く寄せられる、LAN 全般や弊社製品を使用する際にぶつかる疑問点についていくつかまとめてみました。

ネットワークはよく解らない...という方は是非ご一読ください。弊社製品に対する理解を深められることでしょう。

Q BB ルータの設定は接続するコンピュータに対して全部で行うのですか？

A いいえ

複数台接続している環境であっても、いずれか1 台のコンピュータからBBルータの設定を行うだけで完了します。

補足

設定作業を行った1 台でBB ルータを介してインターネットにアクセスできるようになってい

れば、その時点でBB ルータの設定は完了したことになります。他のコンピュータから同じように

例えば、2 台のコンピュータのうち、1 台はインターネットにアクセスできるが、もう1 台はアク

セスできないという場合は、BB ルータではなくコンピュータ側に問題があることが考えられます。

Q インターネットに接続できないのに、どうやって設定画面にアクセスするんですか？

A インターネットへの接続と関係なく、設定画面にアクセスできません。

設定画面はBB ルータの中にあります。BB ルータの中に設定用のホームページが存在しアクセスすることで、BB ルータの設定を行っているのです。

ですから、BB ルータがインターネット（モデム）につながっていなくてもコンピュータは設定画面にアクセスすることができるのです。

Q 「ブラウザ」ってなんですか？

A インターネット上のホームページ等を見るためのソフトです。

「インターネットエクスプローラ」や「ネットスケープ」等が代表的なソフトになります。

補足

BB ルータのマニュアルでは「インターネットエクスプローラ」の画面が使われているので「ネットスケープではどうやって設定するんですか？」という質問も寄せられますが、例えば「yahoo」のホームページが「インターネットエクスプローラ」でも「ネットスケープ」でも見ることができるように、BB ルータの設定画面も問題なく「ネットスケープ」で表示することができます。

補足A 本製品の画像圧縮にはJPEG形式が用いられています。

JPEG形式は最も一般的な圧縮形式の一つで、様々なWEBブラウザやアプリケーションで、特別なソフトのインストールなしに展開することが可能です。

Q IP アドレスってなんですか？

A TCP/IP プロトコルを使ったネットワークにおいて、コンピュータごとに割り当てられる個別の数字のことを言います。

数字がちょっと変わるだけでアクセスできなくなったりする厄介なイメージがあると思いますが、簡単に考えるなら「学校のクラスと出席番号」に置き換えて考えると判り易いかと思います。

例えばA 君とB 君とC 君がいて、A 君とB 君は「1 1」組でC 君が「1 2」組の場合、A 君とB 君は同じ教室なのでいつでも話をするすることができますが、C 君は教室が別なのでA 君達とは会えません。IP アドレスもほとんどそれと同じような理屈になっています。

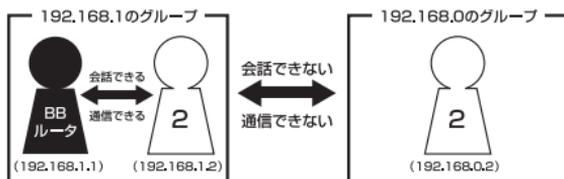
実際のIP アドレスで例えるなら、BB ルータのIP アドレスは出荷時には「192.168.1.1」というIP アドレスが設定されています。これは、BB ルータ君は「192.168.1」組の出席番号「1」番という意味になります。

このBB ルータ君と話をするにはコンピュータも「192.168.1」組に入らないと教室が別になるので話ができません。

BB ルータにアクセスするコンピュータのIP アドレスが「192.168.1.2」であれば「192.168.1」組の出席番号「2」番になるので、そのコンピュータはBB ルータ君と話をするすることができます。

もしコンピュータのIP アドレスが「192.168.0.2」だと、そのコンピュータは「192.168.0」組になるためBB ルータ君とは教室が別になり、BB ルータ君と話をするできません。

つまり、BB ルータにアクセスするにはコンピュータのIP アドレスが「192.168.1.**」という数字でなくてはならないのです。



上記の説明で「出席番号が同じになるとどうなるの?」という疑問を持った方もいると思います。

もし同じ出席番号の人が同じ教室に2人いたら混乱しますね? ネットワークもそれと同じで、IP アドレスは重複してはいけなくなっています。同じ番号のコンピュータが存在した場合、「その番号を使っている人が他にいますよ」という内容の警告メッセージがコンピュータ上に表示されません。

ここまで読んでいただいた方はもうお判りだと思いますが、IP アドレス「AA.BB.CC.DD」の3つ目(CC)までがネットワークのグループを表していて、最後の数字(DD)がコンピュータごとに設定される個別の数字ということになります。

補足

厳密にはもっと色々なルールがあるのですが、BB ルータの設定画面にアクセスするには少なくとも上記レベルのルールが判っていれば、トラブルに遭った時の対処や問題の切り分けに役立つと思います。

2 設定画面にアクセスできない

ここではBB ルータの設定画面にうまくアクセスできない場合の主な確認点及び確認方法をまとめました。ご利用のコンピュータに該当する項目がないかチェックしてください。

Q 設定画面にアクセスできないのですが？

A LAN ランプ、IP アドレス、プロキシ、セキュリティソフトそれぞれの項目が正しく設定されていないとアクセスできません。もう一度設定を確認してみてください。

また、BB ルータとの通信が正常に行われていない可能性もあります。これはping というコマンドを使って確認することができます。

LAN ランプ

LAN ランプは点灯していますか？

コンピュータが接続されて正常に通信ができる状態になると「LINK」と言われるランプが点灯します。

BB ルータには「LAN」「Link/Act」「LAN LINK」等の名称で呼ばれるランプがついていますので、そのランプが点灯しているか確認してください。（詳しくはマニュアル第1章4の「各部の名称」をご覧ください）

・点灯しない場合

ランプが点灯していない場合、BB ルータとコンピュータは通信できる状態になっていませんので、設定画面にもアクセスできません。いくつかの原因は考えられますが、まずはケーブルを交換してみてください。

正常にランプが点灯しているポートで使用中の、他のケーブルを使って接続してみてください。

ケーブル交換の後、正常にランプが点灯するようであれば、交換前に使用していたケーブルに問題がある（断線やクロスケーブルなど）ということになります。

IP アドレス

IP アドレスが正しく取得できていますか？

アクセスできない場合は、取得しているIP アドレスを確認してください。

BB ルータには「192.168.1.1」というIP アドレスが出荷時に設定されており、BBルータにアクセスするにはコンピュータが「192.168.1.**」というIP アドレスを取得する必要があります(最後の「**」には1以外の数字が入ります)。

異なるIP アドレス(210.119.**.**等)を取得している場合はBB ルータの設定画面にはアクセスできません。

・確認方法

主なOS での確認方法は以下のようになりますので、取得しているIP アドレスの確認を行ってください。

Windows 98/98SE/Me の場合：

1. 「スタート」 「ファイル名を指定して実行」を選択、「名前」 「WINIPCFG」と入力 「OK」をクリックしてください。
2. 「IP 設定」というウインドウが開きますので「アダプタアドレス」の上をご使用のLAN カードに変更してください。
3. 「IP アドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されることをご確認ください (**には1以外の数字が入ります)。

Windows 2000/XP の場合 :

1. 「スタート」 「プログラム」 「アクセサリ」を開き、「コマンドプロンプト」を選択してください。
2. キーの入力待ちになりましたら「IPCONFIG」と入力し、Enterキーを押してください。
3. 「IP アドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されることをご確認ください (**には1以外の数字が入ります)。

Macintosh の場合 :

1. アップルメニューから「コントロールパネル」 「TCP/IP」を開いてください。
2. 「IP アドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されることをご確認ください (**には1以外の数字が入ります)。

・まったく違うIPアドレスを取得している場合 (Windows のみ)
確認したIP アドレスが「192.168.1.**」ではなく、まったく違うIPアドレスを取得している場合、以下の方法で取得しているIPアドレスを開放して、再度IPアドレスを取得しなおすことができます。

Windows 98/98SE/Me の場合 :

1. 「スタート」 「ファイル名を指定して実行」を選択、「名前」 「WINIPCFG」と入力 「OK」をクリックしてください。
2. 「IP 設定」というウインドウが開きますので「アダプタアドレス」の上をご使用のLAN カードに変更 「すべて開放」ボタンをクリックしてください。
3. 「IP アドレス」が「0.0.0.0」になったのを確認してから「すべて書き換え」ボタンをクリックしてください。

4. 「IP アドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されていれば正しく取得できたこととなります（**には1以外の数字が入ります）。

Windows 2000/XP の場合：

1. 「スタート」「プログラム」「アクセサリ」を開き、「コマンドプロンプト」を選択してください。
2. キーの入力待ちになりましたら「IPCONFIG/RELEASE」と入力し、Enter キーを押してください。
3. 再度「IPCONFIG」と入力し、Enter キーを押してください。
4. 「IP アドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されていれば、正しく取得できたこととなります（**には1以外の数字が入ります）。

ping

BB ルータと正常に通信していますか？

・ 接続確認方法（Windows のみ）

BB ルータと通信できているかどうかは「ping」というコマンドで確認することができます。

Windows 98/98SE の場合：

1. 「スタート」「プログラム」「MS DOS プロンプト」を選択、「MS DOS プロンプト」のウィンドウが開きます。
2. ウィンドウが開くとカーソルが点滅してコマンドの入力待ちになりますので「ping 192.168.1.1」と入力して、最後にEnter キーを押してください。

3. 「Pinging 192.168.1.1 with . . . 」というメッセージに続いて、その後連続4 回同じメッセージが表示されると思います。

「Reply from 192.168.1.1 . . . 」というメッセージが返ってきていれば正常です。

Windows Me の場合 :

1. 「スタート」 「プログラム」 「アクセサリ」 「MS DOS プロンプト」を選択、「MS DOS プロンプト」のウィンドウが開きます。

2. ウィンドウが開くとカーソルが点滅してコマンドの入力待ちになりますので「ping 192.168.1.1」と入力して、最後にEnter キーを押してください。

3. 「Pinging 192.168.1.1 with . . . 」というメッセージに続いて、その後連続4 回同じメッセージが表示されると思います。「Reply from 192.168.1.1 . . . 」というメッセージが返ってきていれば正常です。

Windows 2000/XP の場合 :

1. 「スタート」 「プログラム」 「アクセサリ」 「コマンドプロンプト」を選択、「コマンドプロンプト」のウィンドウが開きます。

2. ウィンドウが開くとカーソルが点滅してコマンドの入力待ちになりますので「ping 192.168.1.1」と入力して、最後にEnter キーを押してください。

3. 「Pinging 192.168.1.1 with . . . 」というメッセージに続いて、その後連続4 回同じメッセージが表示されると思います。「Reply from 192.168.1.1 . . . 」というメッセージが返ってきていれば正常です。

- ・ 応答が「Request Timed Out」になる

「ping 192.168.1.1」と実行した時「Request Timed Out」と表示される場合は、IP アドレスが正しく取得できていないか、コンピュータのLAN アダプタが正常に動作していない可能性が考えられます。

1.IP アドレスが正しく取得できているか確認してください。「IP アドレスが正しく取得できているか」に確認方法が記載されています。

2.LAN アダプタが正常に動作しているか確認してください。確認方法はモデムに直接接続してインターネットにアクセスできれば正常です。

ブラウザのプロキシ (PROXY) 設定

不要な設定をしていませんか？

ブラウザのプロキシになんらかの設定が行われていると、アドレスに指定された所に接続する前に、プロキシで設定した所に接続しようとしてしまうため、設定画面にアクセスできない場合があります。その場合は以下のような手順でプロキシの設定を解除してください。

インターネットエクスプローラの場合 (5.0 以降) :

- 1.メニューの「ツール」 「インターネットオプション」を選んでください。
- 2.「接続」タブをクリック 「LAN の設定」ボタンをクリックしてください。
- 3.「自動設定」と「プロキシサーバ」のチェックボックスでチェックされている項目がありましたら、全ての項目のチェックを外してください。

4. 「OK」ボタンをクリック 「ローカルエリアネットワークの設定」ウインドウを閉じてください。
5. 再度「OK」ボタンをクリック 「インターネットオプション」ウインドウを閉じてください。
6. 一度インターネットエクスプローラを終了させてから再度起動し、再度BB ルータの設定画面にアクセスできるか試してください。

ネットスケープの場合：

1. メニューの「編集」 「設定」を選択してください。
2. 「詳細」 「プロキシ」を選択、「インターネットに直接接続する」をチェックしてください。
3. 「OK」ボタンをクリック ウインドウを閉じてください。
4. 一度ネットスケープを終了させてから再度起動し、再度BB ルータの設定画面にアクセスできるか試してください。

セキュリティ関連ソフトの影響

ウイルスバスターやノートンアンチウイルス等、最近のウイルスチェックソフトには簡易ファイヤウォールという機能を搭載した物が増えています。

ファイヤウォールはアクセス許可をしていないIP アドレスからのパケット(通信)を遮断したりする機能です。

有効になっていると稀にBB ルータとの接続時にファイヤウォール機能が働いて設定画面がうまく表示されない事や、設定内容を保存するとエラーになること等があります。

ウイルスチェックソフトやインターネットセキュリティソフトをご使用になられている場合は、それらのソフトを停止させてみてください。停止方法が判らない場合は、各ソフトウエアのマニュアルをご覧ください。

3 インターネットにアクセスできない

ここではBB ルータの設定を行ってもインターネットへのアクセスができない場合の、主な確認点及び確認方法をまとめました。

接続方法別にまとめてありますので該当する項目がないかチェックしてください。

設定画面にアクセスができない場合は、127ページ「設定画面にアクセスできないのですが?」をご覧ください。

共通項目 事前確認編

どの接続方法にも共通する、最初に確認すべき点です。

Q 設定画面ではすべて正しく設定できたのですが、なぜインターネットにアクセスできないのでしょうか?

A BB ルータが正しく接続されていないと通信が行われないので、インターネットにはアクセスできません。以下を確認してください。

WAN ランプ

WAN ランプは点灯していますか?

BB ルータとモデムを接続して正常に通信ができる状態になると、BB ルータの「WAN」のランプが点灯します。

・点灯しない場合

「WAN」のランプが点灯しない場合は、モデムと正常に接続していないことを表しますので、その状態ではインターネットに接続することができません。

本製品はAuto MDI/MDI-Xに対応しているので、ケーブルの種類（ストレート/クロス）の違いは関係なくなります。

ポートにケーブルのコネクタが正しく挿さっているか再度確認してください。

それでも、点灯しない場合は使用しているLAN ケーブルを変えてみる必要があります。

接続設定フレッツ編

ここではNTT 提供のフレッツ・ADSL、B フレッツ等のようなフレッツ接続ツールを利用してインターネットにアクセスする場合の、インターネット接続に関する主な確認点をまとめました。

接続ツール等を使わない場合は139ページ「接続設定ケーブルTV、Yahoo!BB 編」をご覧ください。

Q インターネットへの接続や切断はどうするの？

A BB ルータが回線の状態を検知し、自動的に接続・切断を行います。

NTT 「フレッツ」を利用されているほとんどの方が、NTT のフレッツ接続ツールを使ってインターネットに接続し、アクセスをやめる時は切断処理をしていたと思いますが、「BB ルータを使う

場合はどうやって接続するの？」という疑問をもたれる方もいると思います。

BB ルータ使用の場合、コンピュータがインターネットへ接続しようとする、そのコンピュータはBB ルータに接続のための信号を送信します。

BB ルータはその信号を受信すると、回線が切断状態の時には自動的に接続を開始します。そして、一定時間インターネットへの接続が発生しない場合、自動的に切断を行うようになっています。

つまり、ユーザーは接続や切断を意識することなく、インターネットへアクセスできるのです。

注意

上記の動作は出荷時の設定で使用した場合にはなります。設定内容によっては上記のような動作にならない場合もありますのでご注意ください。

Q 今までフレッツ接続ツールを使っていたのですが、BB ルータを設置した場合にインターネット接続する時の確認点はなんですか？

A ユーザID、パスワード、PPPoE 設定・接続、接続ツールなどです。

ユーザID、パスワード
ユーザID とパスワードに間違いはないですか？

フレッツ接続の場合、接続のためにユーザーID（ログインID）とパスワード（ログインパスワード）をBB ルータに設定しますが、その入力を間違えると正常に接続できません。

入力ミスは意外と多く、再度入力し直すと接続できることが度々ありますので、入力した内容に間違いがないか、今一度確認してください。

「1（いち）」 「l（エル）」 「0（ゼロ）」 「O（オー）」の間違いなど。

フレッツの場合は「@」以降の入力が必須です

フレッツ・ADSL やB フレッツの場合は、ユーザID (ログインID) やパスワード (ログインパスワード) の入力が必須です。

特に注意すべき点として、ユーザID の設定ではご利用になるプロバイダごとに、ユーザID の後ろに「@****.ne.jp」というような設定入力が必要です。

プロバイダからの接続資料にはユーザID の表記で「@」以降の部分が記載されていない場合もあります。

その場合はNTT からのフレッツ接続資料の中に、プロバイダ別のドメイン名リストがありますので、そちらで「@」以降の表記をご確認ください。

PPPoE 設定

PPPoE 接続の結果を確認してください。

BB ルータにより確認方法が異なってくるため詳細は割愛しますが、PPPoE の接続設定の後には接続確認が大抵の場合行われず。

「接続診断」という機能を持ったBB ルータの場合は、その機能を使って接続結果が良好かどうかを確認してください。

設定の最後で自動的に接続し、その結果を画面上に表示するタイプのBB ルータの場合、接続に成功したというメッセージが表示されるか確認してください。

・ 接続テストの結果、接続できなかったという場合

「PADI TIMEOUT」や「サーバからの応答NG」等になる時は、PPPoE 設定の「ユーザID」の設定が正しくても接続できないことがあります。

その場合、モデム・BB ルータ・コンピュータの電源をそれぞれ切り、電源を切ったままの状態ですら30 ~ 60 分ほどそのままにしておいてください。

30 ~ 60 分ほど経過しましたらモデム BB ルータ コンピュータの順番に電源を入れてください。

フレッツ接続ツール

フレッツ接続ツールは使いません

BB ルータを使用する場合は本編冒頭の「インターネットへの接続や切断はどうするの？」にも書きましたように、フレッツ接続ツールは使用しません。

もし現在、BB ルータの設定後にフレッツ接続ツールを起動してインターネットへの接続をしている場合は、フレッツ接続ツールは使用せずにブラウザを起動して、インターネットに接続できるか確認してください。

正しく接続設定が行われていれば、フレッツ接続ツールを使用しないで接続できます。

- ・ PPPoE 接続だけど接続ツールを使わない場合の設定は？

ADSL 回線で PPPoE 接続だが、モデムにコンピュータを接続してインターネットにアクセスする際、接続ツール等を使用しないという場合は、ご利用のモデムに BB ルータ機能がついている可能性が考えられます。その場合は「PPPoE 接続」ではありませんので、次項の「アッカやイー・アクセスをご利用の場合」を参考に設定を行ってください。

アッカやイー・アクセスをご利用の場合

アッカやイー・アクセスは ADSL 回線ですが、提供されているモデムにルータ機能がついています。複数のコンピュータで利用する場合は、ハブがあればアクセスできるため本来 BB ルータは必要ありません。

しかし、どうしても BB ルータを使用したいという場合は、BB ルータの IP アドレスを変更することで利用可能になります。

BB ルータの IP アドレスは本冊子の冒頭でも触れているように「192.168.1.1」になります。もし、ご利用のモデムも同じく「192.168.1.1」という IP アドレスを持っていて、しかも設定画面にアクセスした時にモデムの設定が行えるようだと、BB ルータの WAN 側と LAN 側が同じようなアドレス (192.168.1.***) になってしまい、BB ルータが混乱して正常な動作ができなくなります。

ハブではなく BB ルータを使用したい場合は BB ルータの LAN 側の IP アドレスを、「192.168.2.**」等のように WAN 側の IP とは別のアドレスに変更すれば、接続できるようになります。

Q ケーブルTV インターネットやYahoo!BB を利用した場合に、インターネット接続する時の確認点はなんですか？

A IP アドレスの取得、ケーブルTV インターネットの場合はケーブルの接続方法にもご注意ください。

IP アドレスの取得

- ・ケーブルTV やYahoo!BB をご利用の場合

ケーブルTV やYahoo!BB を利用する場合は「通常接続（DHCP 接続）」という方式で接続を行います。

各BB ルータのマニュアルをご覧くださいと判るかと思いますが、この場合設定らしい設定はほとんど必要ありません。

インターネットに接続するには、BB ルータがプロバイダからIP アドレスを取得しなければいけませんので、BB ルータのWAN 側ポートにIP アドレスが表示されているか確認してください。

確認方法はBB ルータによって画面が異なりますので詳細は割愛しますが、「ステータス表示」や「アカウント管理」の画面で確認することができます。

ケーブルの接続

- ・WAN 側ポートにIP アドレスが割り当てられない時

ケーブルTV 等を利用したPPPoE 以外のインターネット接続方法の場合、BB ルータを接続する前まではコンピュータをモデムに接続して利用していることが多いと思います。

ケーブルをモデムから外してそのままBB ルータに接続してしまうと、本来BB ルータに割り当てられるはずのIP アドレスをコンピュータが持ったままになってしまい、BB ルータがモデムからIP アドレスを正しく取得できないことがあります。

その場合はコンピュータを再度モデムに接続しなおしていただき、一度コンピュータを終了させる処理を行ってください。

モデム接続後にコンピュータを終了させれば、通常は取得したIPアドレスは開放されます。コンピュータの電源が切れたらモデムとBBルータを接続し、モデム BBルータ コンピュータの順番に電源を入れてください。

・それでも接続できない場合

モデムにコンピュータを接続した後、一旦終了させてからモデムとBBルータを接続し、電源を入れなおしてもインターネットに接続できない場合は、モデム・BBルータ・コンピュータの電源をそれぞれ切り、電源を切ったままの状態でも60分ほどそのままにしておいてください。

モデムを含めた全ての機器の電源を長時間切ることによって、プロバイダ側のサーバが記憶している情報が削除されて、初めて接続した時のような状態で接続することができます。60分ほど経過しましたらモデム BBルータ コンピュータの順番に電源を入れてください。

■共通項目 最終確認編

どの接続方法にも共通する、最後に確認すべき点です。

Q 事前確認、接続設定と確認して問題がなかったのですが、それでもアクセスできません。ほかに確認点はありますか？

A コンピュータのIPアドレスが自動取得である事と、DNSサーバアドレスの設定を再確認してください。

自動取得

コンピュータのIPアドレスは自動取得になっていますか？

コンピュータのIPアドレスを手動で設定する場合、正しく設定されていないと設定画面にはアクセスできてもインターネットにアクセスできないことがあります。

手動設定の場合の注意点は次ページ「IP アドレスを手動で設定する場合の注意点は？」を参照していただき、コンピュータのIP アドレスが正しく自動取得になっているか、マニュアルを再度確認してください。

DNS サーバアドレス

IP アドレスでホームページにアクセスしてみてください。

ブラウザのアドレスに「http://210.197.75.205」と入力してEnter キーを押していただき、弊社（プラネックス）のホームページが表示されるか確認してください。

「http://210.197.75.205」だとアクセスできて「http://www.planex.co.jp」だとアクセスできない場合は、DNS サーバアドレスが正しく設定できていない可能性が考えられます。次ページ「IP アドレスを手動で設定する場合の注意点は？」を参考に設定を行ってください。

4 その他 よくあるお問い合わせについて

ここでは、多数寄せられる質問について、いくつかまとめてみました。

Q IP アドレスを手動で設定する場合の注意点は？

A IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバアドレスが正しく設定されているか再確認してください。

IP アドレスの基本的なルールは冒頭の「IP アドレスってなんですか？」の中で触れていますが、設定画面にアクセスする場合に必要な最低限の説明だけなので、インターネットに接続する場合の設定については不十分になっています。

手動でIP アドレスを設定する場合の注意点は以下のようになります。

IP アドレス：

IP アドレスの設定については123ページ「IP アドレスってなんですか？」をご覧ください。

サブネットマスク：

通常は「255.255.255.0」と指定してください。

デフォルトゲートウェイ：

(MacOS では「ルータアドレス」と言います)

BB ルータのIP アドレスが入ります。出荷時の設定は「192.168.1.1」になります。

ここが正しく設定されていないとインターネットには接続できません。

DNS サーバアドレス：

(MacOS では「ネームサーバアドレス」と言います)

ご利用になっているプロバイダのDNS サーバアドレスを入力してください。

BB ルータによっては「デフォルトゲートウェイ」と同じIP アドレスで問題ない場合もありますが、判らない場合はプロバイダ指定のDNS サーバアドレスを設定するのが確実です。

ここが正しく設定されていないと「www.planex.co.jp」という名前(ドメイン名)でホームページにアクセスできなくなります。

Q BB ルータに接続しているコンピュータ同士の通信ができません。

A ping を打って通信確認ができれば、BB ルータの問題ではありません。OS 側の設定の問題だと思われます。

インターネットへの接続は問題ないのに、コンピュータ同士のファイル共有等ができないという問い合わせも良く寄せられます。コンピュータ同士のLAN 接続について、基本的にBB ルータは関与しておりません。

BB ルータの通信確認

コンピュータ同士が本当にアクセスできていないのか確認する方法として、125ページからの「設定画面にアクセスできないのですが？」の中に、取得しているIP アドレスを確認する方法と、指定のIP アドレスにping を打つ方法を紹介していますので、そちらを参考にそれぞれのコンピュータが取得しているIP アドレスを確認して、相手のコンピュータに対してping を打ってみてください。

「Reply from . . .」が帰ってくればコンピュータ同士の接続は問題なくできていることになりますので、ファイル共有等ができないのはBB ルータの問題ではなくOS 側の設定の問題ということになります。

OS 側の要因

ping の結果が「Request timed out」だったり、ping が通っても接続できない場合に考えられる一つの要因として、ファイアウォールソフトの存在が挙げられます。

ウイルスチェックソフトやインターネットセキュリティのソフトには、簡易ファイアウォール機能を有している物があります。使用しているコンピュータにそれらのソフトをインストールしている場合、ファイアウォールが有効になっていると、たとえ自宅

の中の同じネットワーク上のコンピュータであっても、ファイヤウォールから見ると第三者がそのコンピュータにアクセスしているように映るため、アクセスされないように遮断してしまいます。該当するようなソフトを利用されている場合は、それらのソフトを停止させた状態で再度ping コマンドを打ち、通信状態を確認してみてください。

停止させるとping が通るような場合は、それらソフトのファイヤウォールに他のコンピュータのIP アドレスを設定し、信頼するコンピュータとして認識させることで、ファイヤウォールを有効にしながらファイル共有ができるようになります。

Q コンピュータの電源をOFF にしたのに、BB ルータのLAN のランプがついたままですが故障でしょうか？

A 故障ではありません。「Wake On Lan」機能によるものです。

最近のLAN アダプタには「Wake On Lan (以下WOL)」という、他のコンピュータから電源をON/OFF 操作するための機能がついている物が多くなっています。

「WOL」に対応したLAN アダプタでその機能が有効になっている場合、電源ONの信号を受信できるように待機状態になっている必要があるため、コンピュータ自体の電源はOFF になっていても、LAN アダプタはBB ルータのハブとLINK した（LAN のランプが点灯した）状態になります。つまりBB ルータ側ではどうすることもできません。

消えるようにするには「WOL」の機能をOFF にする必要がありますので、ご使用のLAN アダプタのメーカーか、あるいは標準でコンピュータに搭載されているLANアダプタの場合はコンピュータメーカーに機能を無効にする手順をお問い合わせください。

付録B.仕様

型番	BRL-04AX	
準拠する規格	LAN側	IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX
	WAN側	IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX
伝送速度	LAN側	10/100Mbps
	WAN側	10/100Mbps
ポート	LAN側	10BASE-T/100BASE-TX RJ-45 x4ポート(AutoMDI/MDI-X)
	WAN側	10BASE-T/100BASE-TX RJ-45 x1ポート(AutoMDI/MDI-X)
LED	Power Status WAN LAN	
動作電圧	9V	
外形寸法	90(W)×134(H)×29(D)mm	
重量	160g	
環境	動作温度：0℃～40℃ 動作湿度：35%～70%(結露しないこと)	
EMI	VCCI、ClassB、FCC ClassB、CE	

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

<http://www.planex.co.jp/user/>

弊社へのお問い合わせ

弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店様またはPCIダイレクトまで。
ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

PCIダイレクト
<http://direct.planex.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。
ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

ご質問/お見積もりフォーム
<http://www.planex.co.jp/lan.shtml>

技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

お問い合わせフォーム
<http://www.planex.co.jp/support/techform/>
受付：24時間
電話
フリーダイヤル：0120-415977
受付：月～金曜日、10～12時、13～17時
* 祝祭日および弊社指定の休業日を除く
FAX
ファクス番号：03-5614-1018
受付：24時間

お問い合わせ前のお願い

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。
お客様の協力をお願いいたします。

- ・弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ・ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名(Windows XP/Meなど)
- ・ご利用のネットワークの環境(回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など)
- ・ご質問内容(現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください)

その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

プラネックスコミュニケーションズ
<http://www.planex.co.jp/>

質問表

技術的なご質問は、この2ページをプリントアウトして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行

FAX : 03-5614-1018

送信日 :

会社名			
部署名			
名前			
電話		FAX	
E-MAIL			

製品名 Product name	4ポート ブロードバンドルータ
型番 Product No.	BRL-04AX
製造番号 Serial No.	

ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

ソフトウェア

ネットワーク OS	バージョン
OS	バージョン

